

**議会に関する市民意識調査
報告書**

平成24年3月

豊田市議会

目次

1. 調査の概要	1
2. 集計方法及び結果の表示方法	1
3. 調査結果	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 市議会への関心度	7
(3) 市議会定例会開催の認知度	10
(4) 市議会会議の見聞状況	13
(5) 見聞したことがない理由	17
(6) ホームページ閲覧	20
(7) 市議会だよりについて	23
(8) 情報取得の有無	26
(9) 情報源	29
(10) 「豊田市議会基本条例」制定の認知	32
(11) 議会報告会への参加状況	35
(12) 選挙への参加状況	38
(13) 市議会議員名の認知度	41
(14) 意見や要望について	44
(15) 意見や要望を伝える方法	47
(16) 意見や要望を伝えない理由	50
(17) 報告会への参加状況	53
(18) 市政報告書について	56
(19) 市議会や市議会議員に対して期待すること	59
4. 自由意見のまとめ	62
5. アンケート結果からみた課題と方向について	65
参考資料（調査票）	67

1. 調査の概要

本調査の概要は以下に示すとおりです。

- ・調査対象：豊田市在住の20歳以上の市民
- ・抽出方法：無作為抽出。なお、人口が少ない9地区については追加で抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査時期：平成23年11月
- ・配布数：6,492票
- ・回収数：4,022票
- ・有効回収数：4,008票
- ・有効回収率：61.7%

2. 集計方法及び結果の表示方法

・集計方法

下記の9地区については、無作為抽出によると（A）票数が少なく、回答してもらえない数が少なくなるため、追加抽出（B）を行い、それぞれの地区において150票を抽出・配布しました。

これらの地区では回答の重みが異なるため、それを調整するために地区別集計以外（全体、性別、年齢別）では補正係数かけた集計結果を示しています。

表1 抽出票数を上積みした9地区の回答の補正係数

地区	A. 無作為抽出数	B. 追加抽出数*	C. 配布数	D. 補正係数(A/C)
猿投	123	27	150	0.820
石野	56	94	150	0.373
藤岡	127	23	150	0.847
小原	60	90	150	0.400
足助	144	6	150	0.960
下山	76	74	150	0.507
旭	49	101	150	0.327
稲武	43	107	150	0.287
藤岡南	148	2	150	0.987

・図の見方

図中の構成比（％）は、複数回答、単数回答ともに、少数点第2位を四捨五入していますので、図中の構成比（％）を合計しても、必ずしも100.0％になりません。

図表中の表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現を、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

3. 調査結果

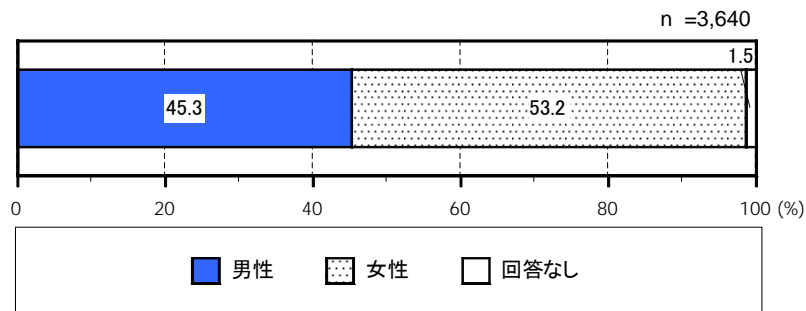
(1) 回答者の属性

問35 あなたの性別は

※枠の左にアンケート調査票における設問の番号を示しています。

○「男性」が45.3%、「女性」が53.2%で、女性が多くなっています。

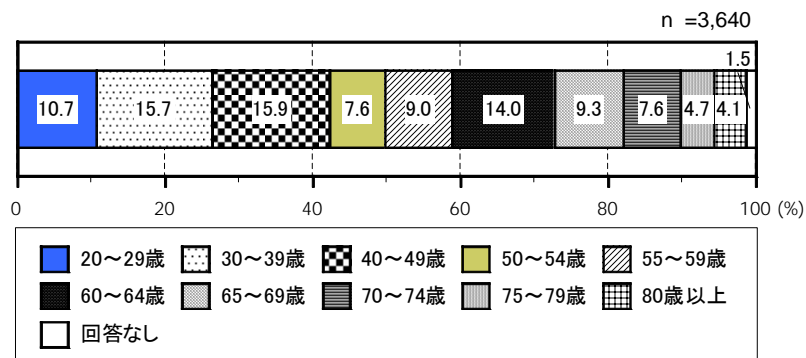
図1 回答者の性別



問36 あなたの年齢は

○「30～39歳」と「40～49歳」、「60～64歳」が14%以上で、多くなっています。

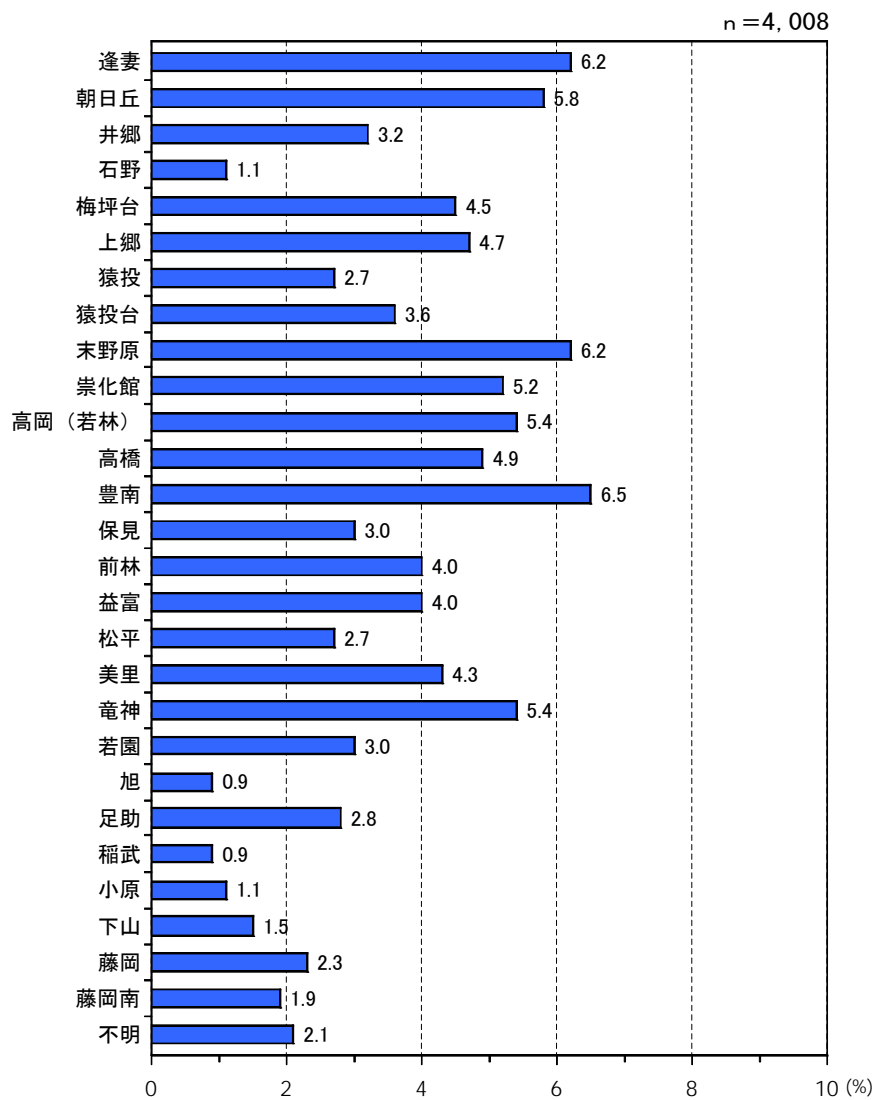
図2 回答者の年齢



問37 あなたのお住まいは、どの地区(中学校区)にありますか。次の中から選んでください。地区がわからない場合は、町丁名を記入してください。

○「逢妻」、「朝日丘」、「末野原」、「豊南」など、旧豊田市内の地区で多くなっています。

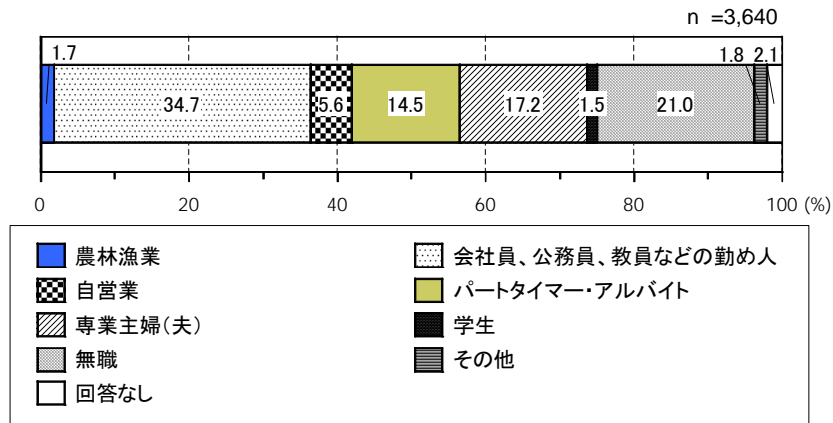
図3 居住地区



問38 あなたの職業は

- 「会社員、公務員、教員などの勤め人」が34.7%で最も多く、次いで「無職」(21.0%)、「専業主婦(夫)」(17.2%)、「パートタイマー・アルバイト」(14.5%)が多くなっています。

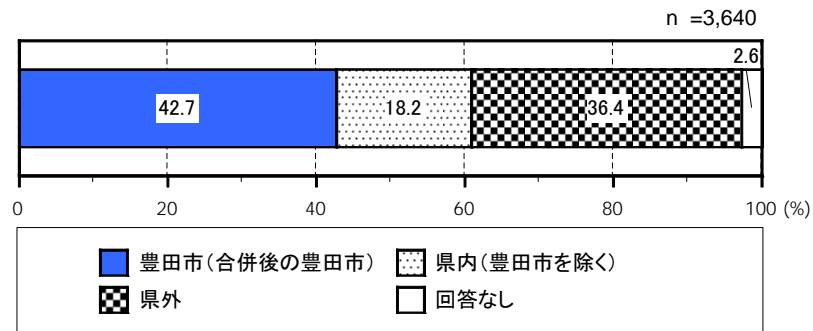
図4 職業



問39-1 あなたの出生地(お生まれ)は

- 「豊田市(合併後の豊田市)」が42.7%、「県内」が18.2%です。
○「県外」は36.4%みられます。

図5 出生地

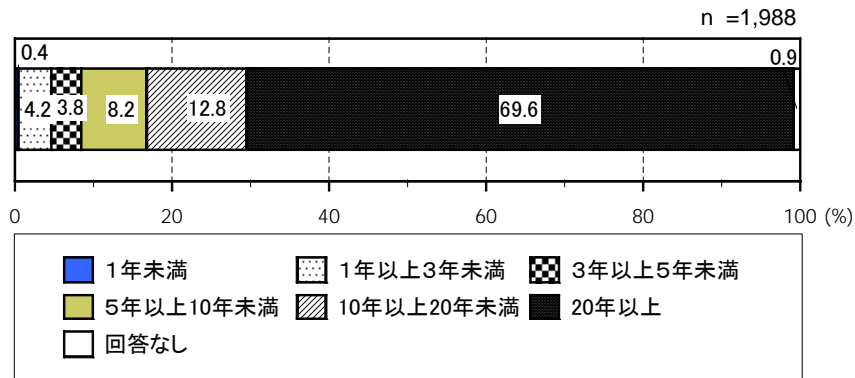


前問で「2.県内(豊田市を除く)」「3.県外」とお答えの方にお聞きします。

問 39-2 あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。

○豊田市に転入した回答者の市内での居住年数は、「20年以上」が約70%となっています。

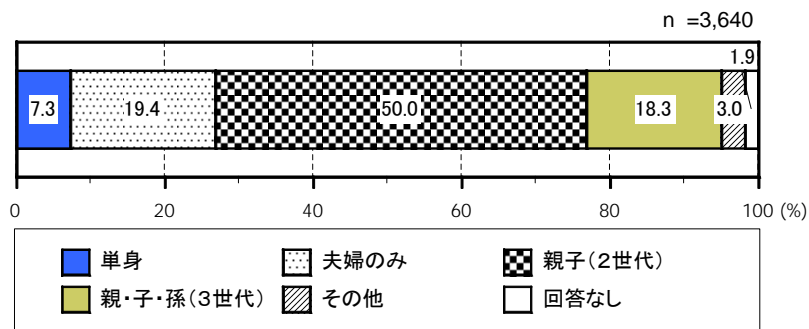
図6 転入者の居住年数



問 40-1 あなたの同居している家族構成は

○「親子（2世代）」が半数を占めています。
 ○「夫婦のみ」と「親・子・孫（3世代）」はそれぞれ20%弱で、「単身」は7.3%です。

図7 家族構成

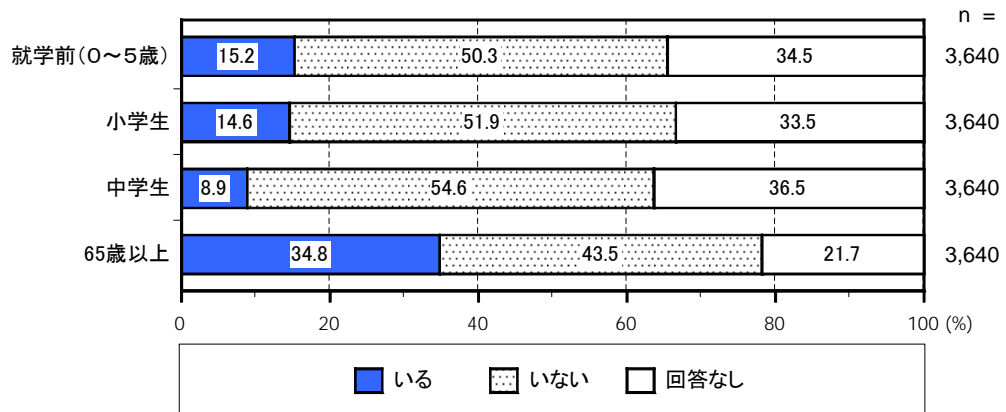


問 40-2

あなたの同居の家族に次の方はいますか。

- 「就学前（0～5歳）」や「小学生」がいる回答者は約15%、「中学生」がいるのは8.9%です。
- 「65歳以上」がいる回答者は、34.8%に達しています。

図8 同居家族



(2) 市議会への関心度

問 21 あなたは、市議会に関心がありますか。(○は1つ)

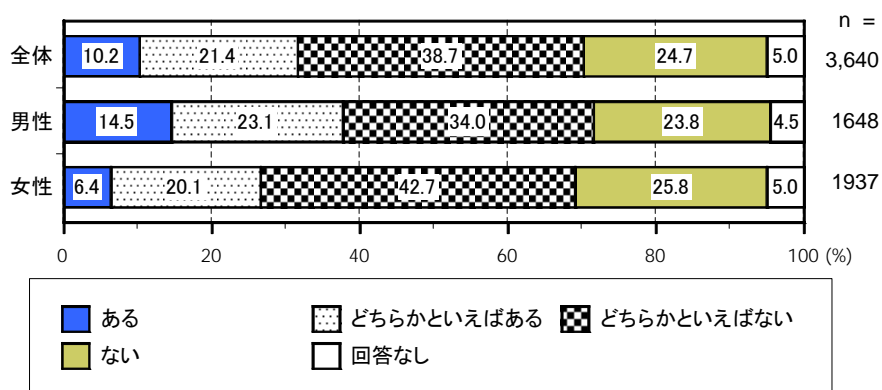
【全体】：回答者全体

- 市議会への関心が「ある」は10.2%、「どちらかといえばある」は21.4%で、関心を持っている回答者は合わせて30%強です。
- 「どちらかといえばない」が38.7%、「ない」が24.7%で、関心を持っていないのは60%を超えています。

【性別】

- 男性で関心がある（「ある」＋「どちらかといえばある」）のは約38%で、女性よりも10ポイント以上高くなっています。

図9 市議会への関心度（性別）

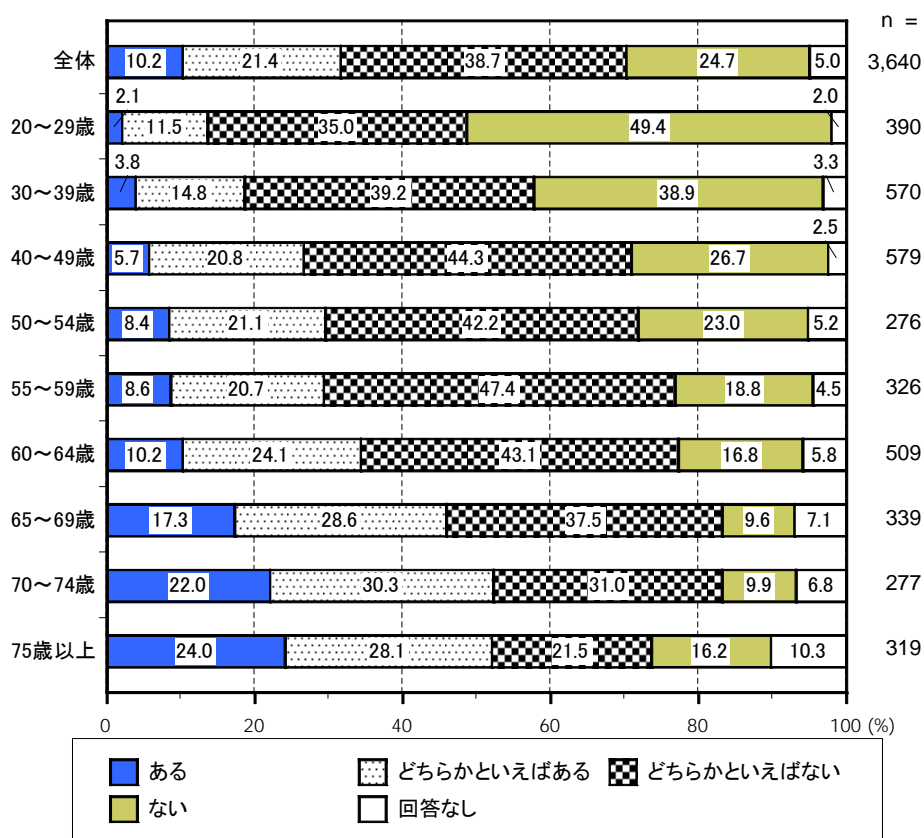


【年齢別】

○年齢層が高いほど、市議会に関心がある割合は、概ね高くなる傾向があり、50～59歳では約30%、さらに70歳以上では半数以上が関心を持っています。

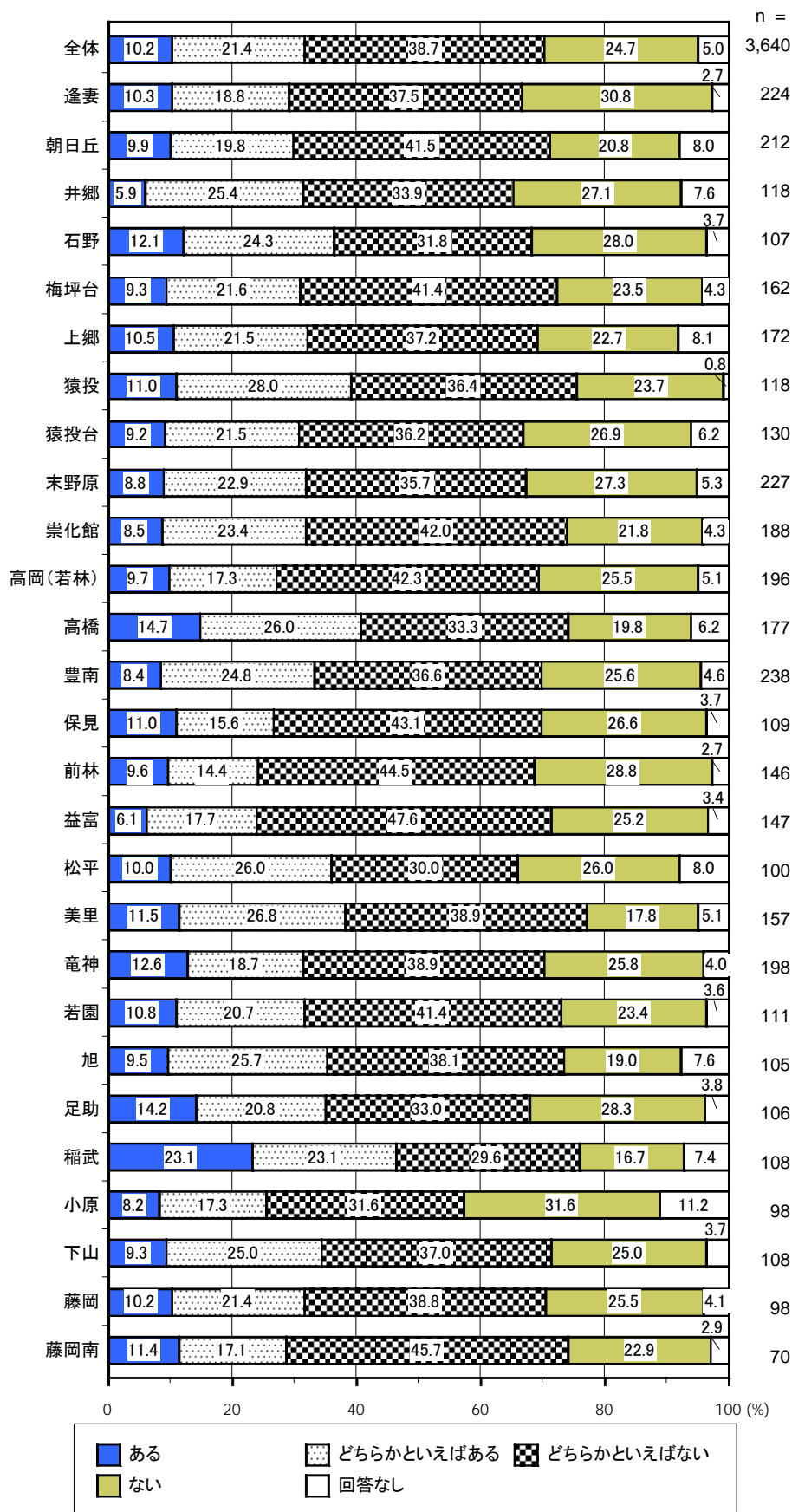
○20～29歳では、関心がある割合は約14%にとどまっており、若年層の市議会への関心を高めることが課題です。

図10 市議会への関心度（年齢別）



※居住地区別の集計結果は、参考として示しています。

図11 市議会への関心度（居住地区別）



(3) 市議会定例会開催の認知度

問 22

あなたは、市議会定例会が年4回(3月、6月、9月、12月)開催されていることを知っていますか。
(○は1つ)

【全体】

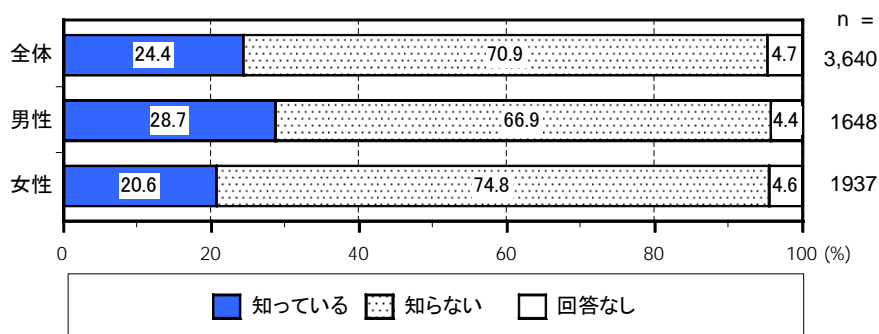
○市議会定例会開催について「知っている」は4分の1にとどまっており、「知らない」は70.9%です。

【性別】

○男性では「知っている」が28.7%で、女性よりも8ポイント以上高くなっています。

○女性では、「知らない」が4分の3近くに達しています。

図12 市議会定例会開催の認知度 (性別)



【年齢別】

○「知っている」は、20～29歳では8.1%と最も低く、50歳～64歳では27%以上、65歳以上では35%以上みられます。

図13 市議会定例会開催の認知度（年齢別）

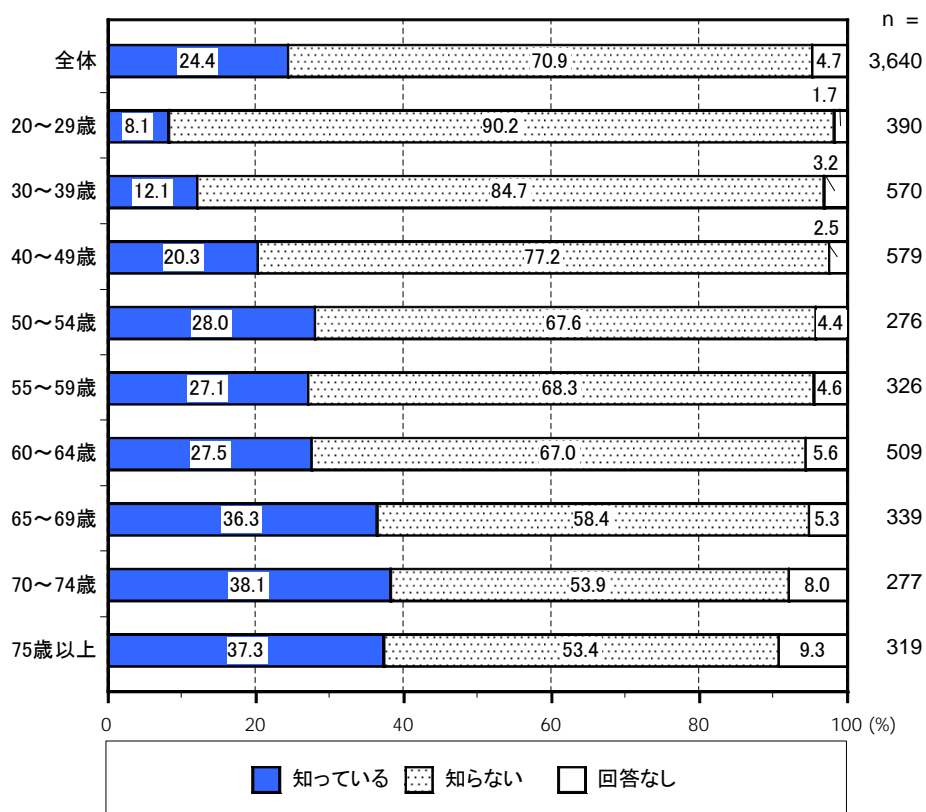
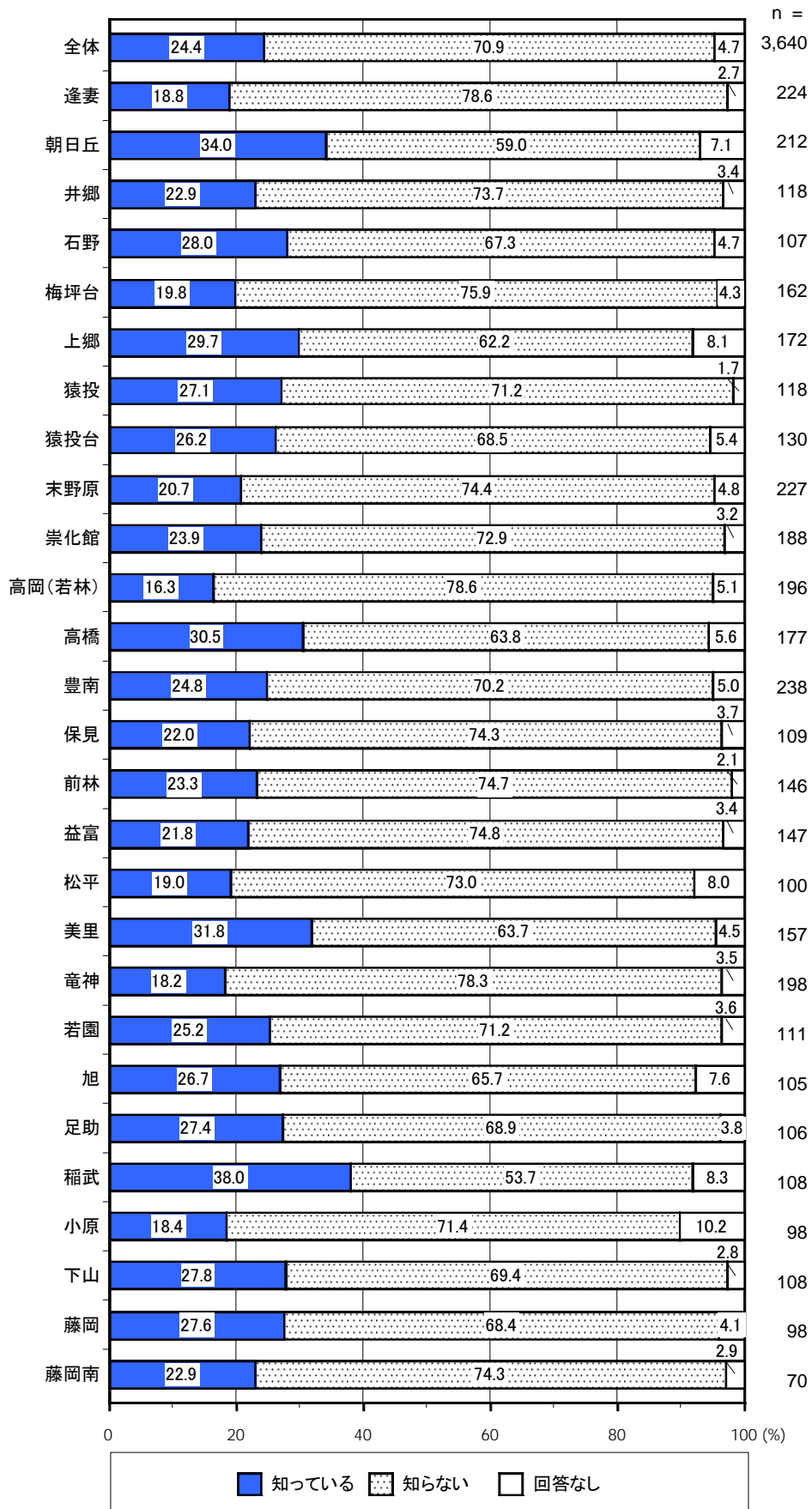


図14 市議会定例会開催の認知度（居住地区別）



(4) 市議会会議の見聞状況

問 23-1 あなたは、市議会の会議を見たり聞いたりしたことがありますか。(該当するものすべてに○)
 なお、「2～6」とご回答の方は、追加質問にもお答えください。

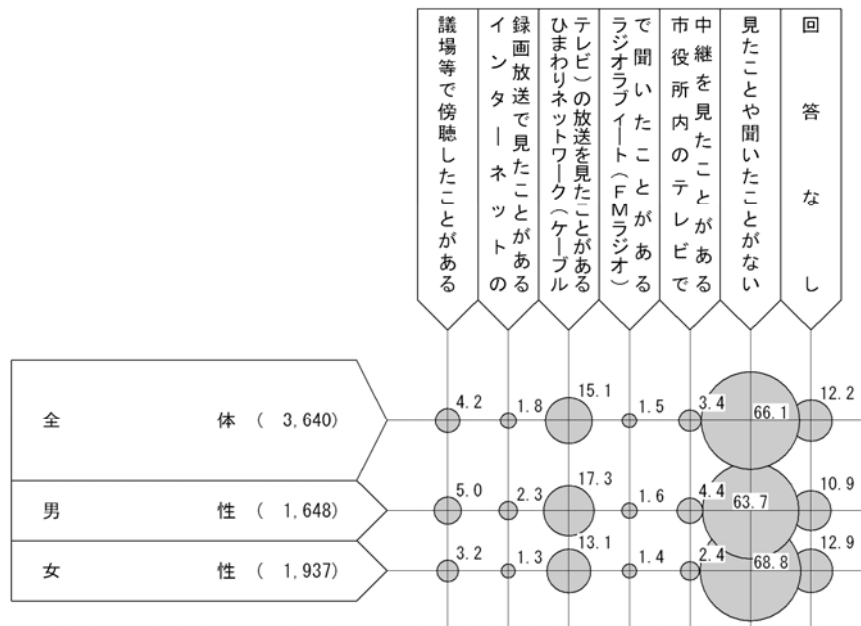
【全体】

- 市議会の会議を見たこと聞いたことがある場合は、「ひまわりネットワーク（ケーブルテレビ）の放送を見たことがある」が15.1%、「議場等で傍聴したことがある」が4.2%、「市役所内のテレビで中継を見たことがある」は3.4%で、ケーブルテレビが大きな役割を果たしています。
- 「見たことや聞いたことがない」は、3分の2ぐらいです。

【性別】

- 男性では「ひまわりネットワーク（ケーブルテレビ）の放送を見たことがある」が17.3%で、女性よりも高くなっています。
- 女性で「見たことや聞いたことがない」が68.8%で男性よりも高くなっています。

図15 市議会会議の見聞状況（性別）



【年齢別】

- 50歳以上では、「ひまわりネットワーク（ケーブルテレビ）の放送を見たことがある」が15%を超えており、70～74歳では4分の1近くみられます。
- 65～69歳では、「議場等で傍聴したことがある」が10%強います。
- 市議会に関心が低かった若い年齢層になるにしたがって、「見たことや聞いたことがない」の割合が高くなっており、20～39歳では80%以上を占めます。

図16 市議会会議の見聞状況（年齢別）

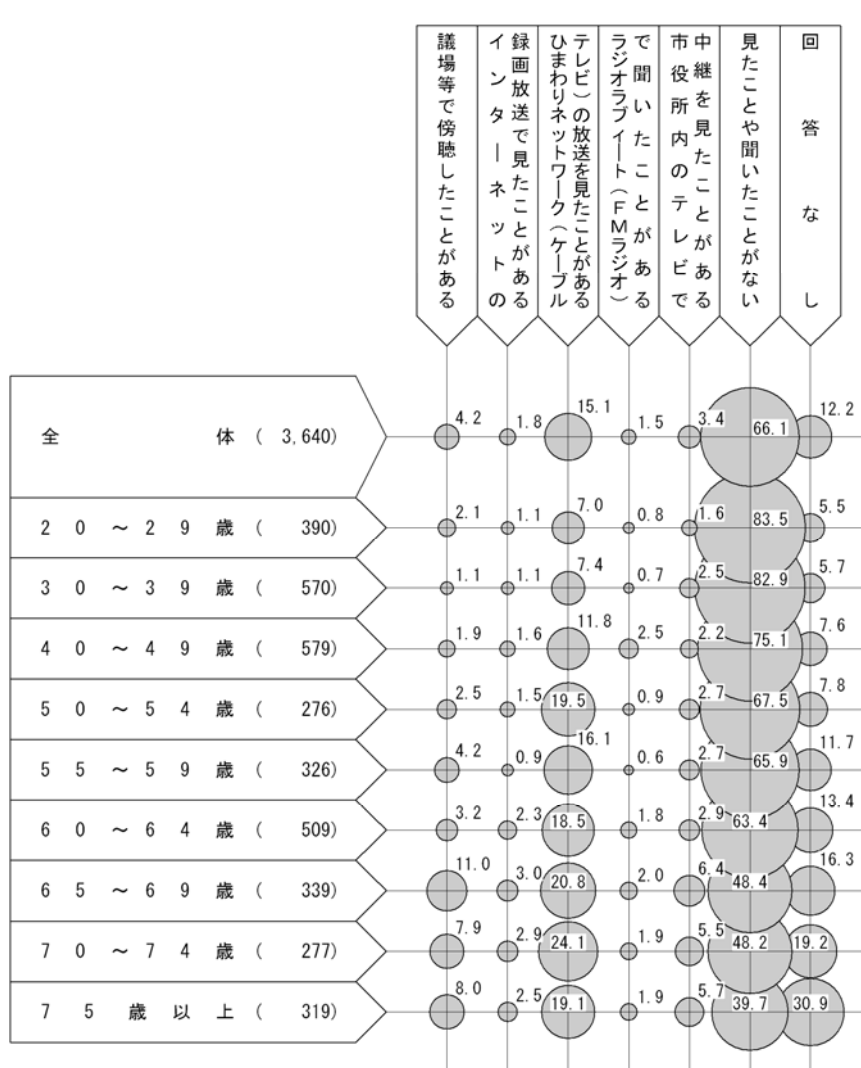
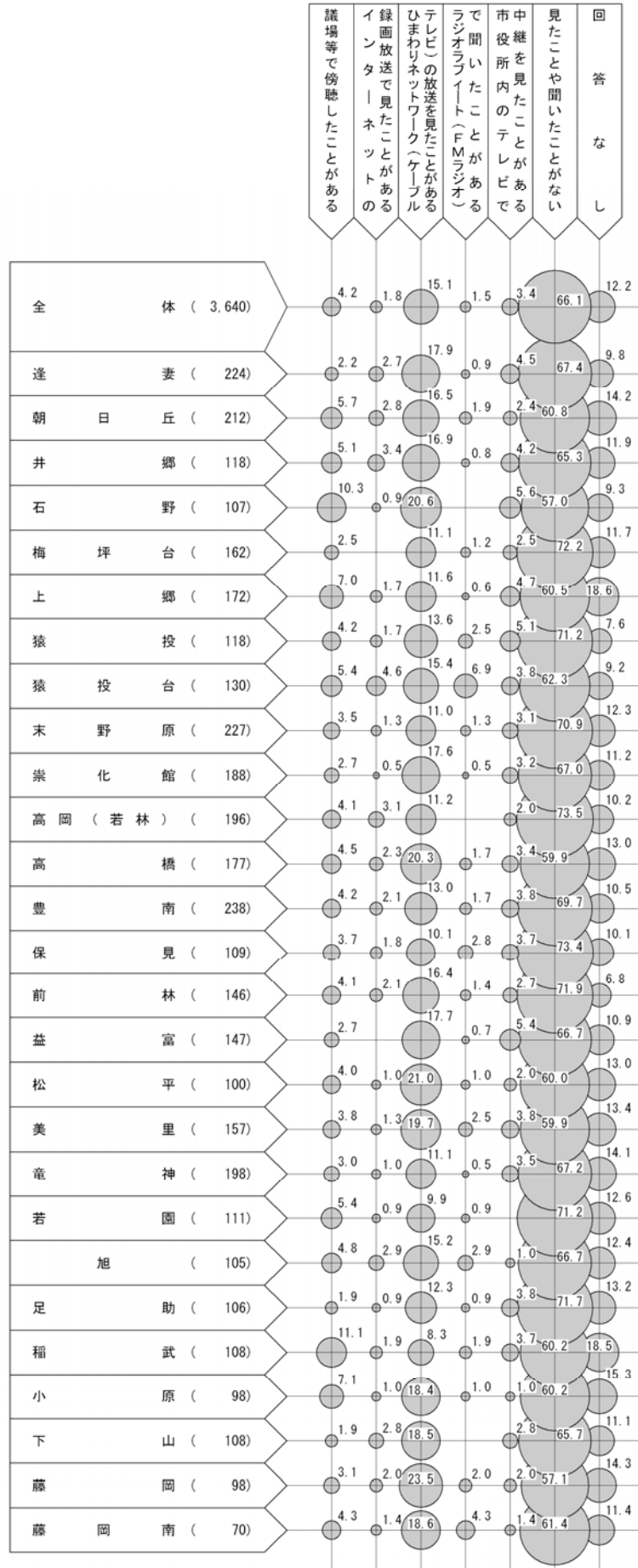


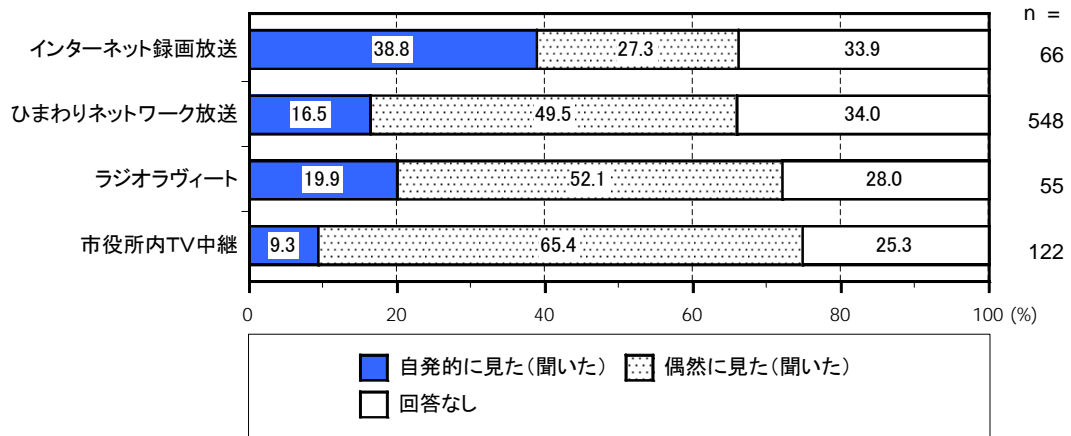
図17 市議会会議の見聞状況（居住地区別）



【メディアごとの見たり聞いたりした状況】（追加質問）

- 利用者が多いひまわりネットワーク放送では、「自発的に見た（聞いた）」が16.5%です。
- 市役所内TV中継では、「偶然に見た（聞いた）」が65.4%みられます。

図18 メディアごとの見たり聞いたりした状況



前問で「6.見たことや聞いたことがない」とお答えの方にお聞きします。

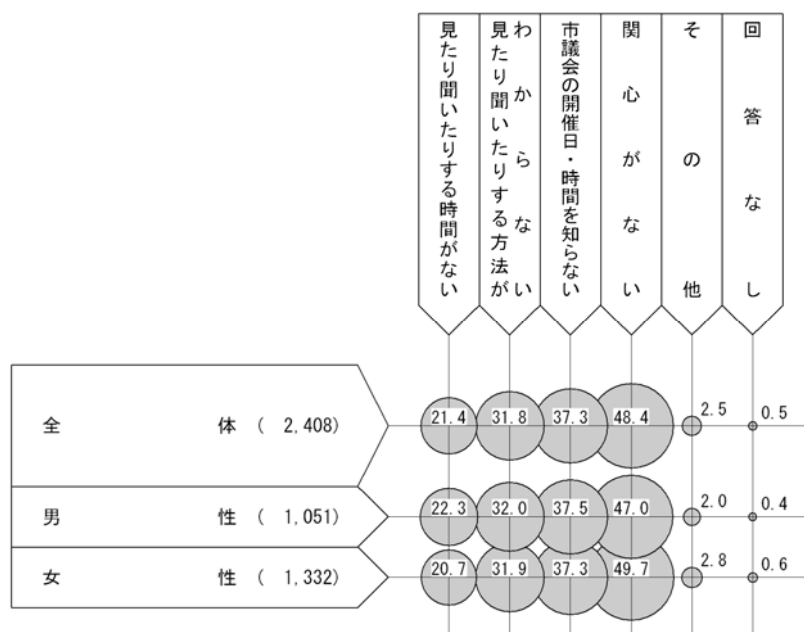
(5) 見聞したことがない理由

問23-2 その理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

【全体】

- 見聞きしたことがない理由は、「関心がない」が半数近くに達しています。
- 次いで、「市議会の開催日・時間を知らない」が37.3%、「見たり聞いたりする方法がわからない」が31.8%で、市議会の開催についての情報が十分に伝わっていないと思われます。

図19 見聞したことがない理由 (性別)



【年齢別】

○60～64歳と70～74歳で「見たり聞いたりする方法がわからない」、さらに60～64歳で「市議会の開催日・時間を知らない」の割合が、ほかの年齢層よりも高くなっています。

○30～54歳で、「見たり聞いたりする時間がない」が4分の1以上と目立っています。

○69歳以下では、年齢層が若くなるほど「関心がない」の割合が高くなる傾向があります。

図20 見聞したことがない理由（年齢別）

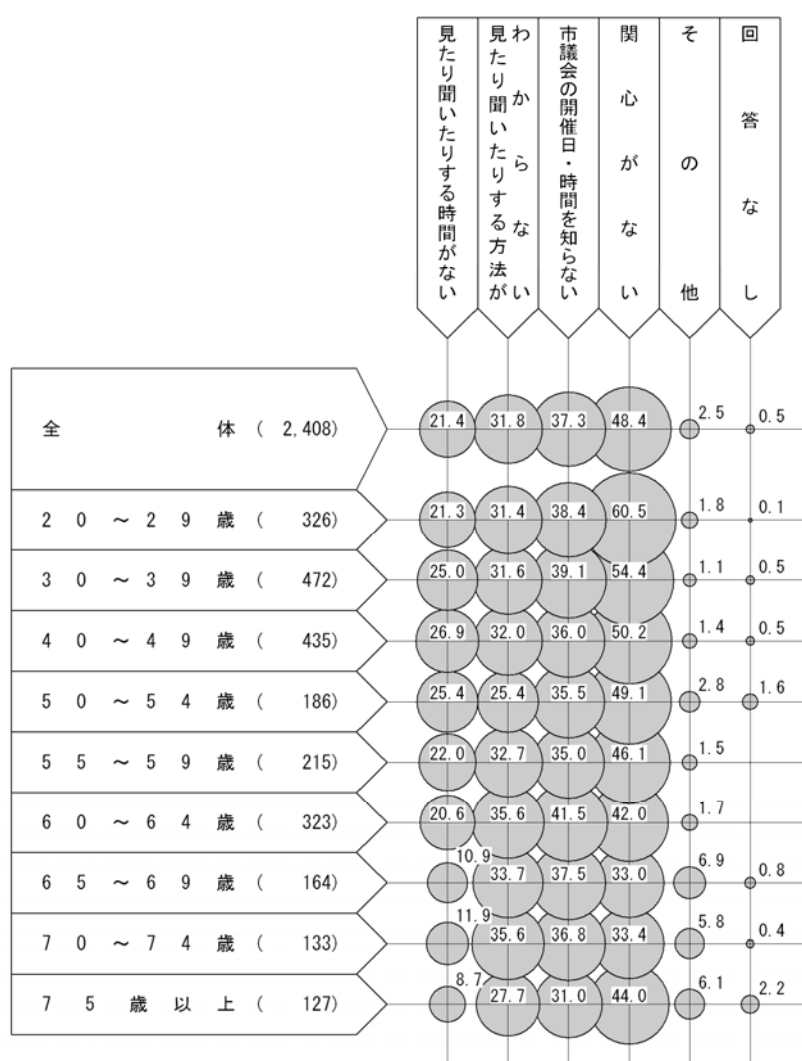
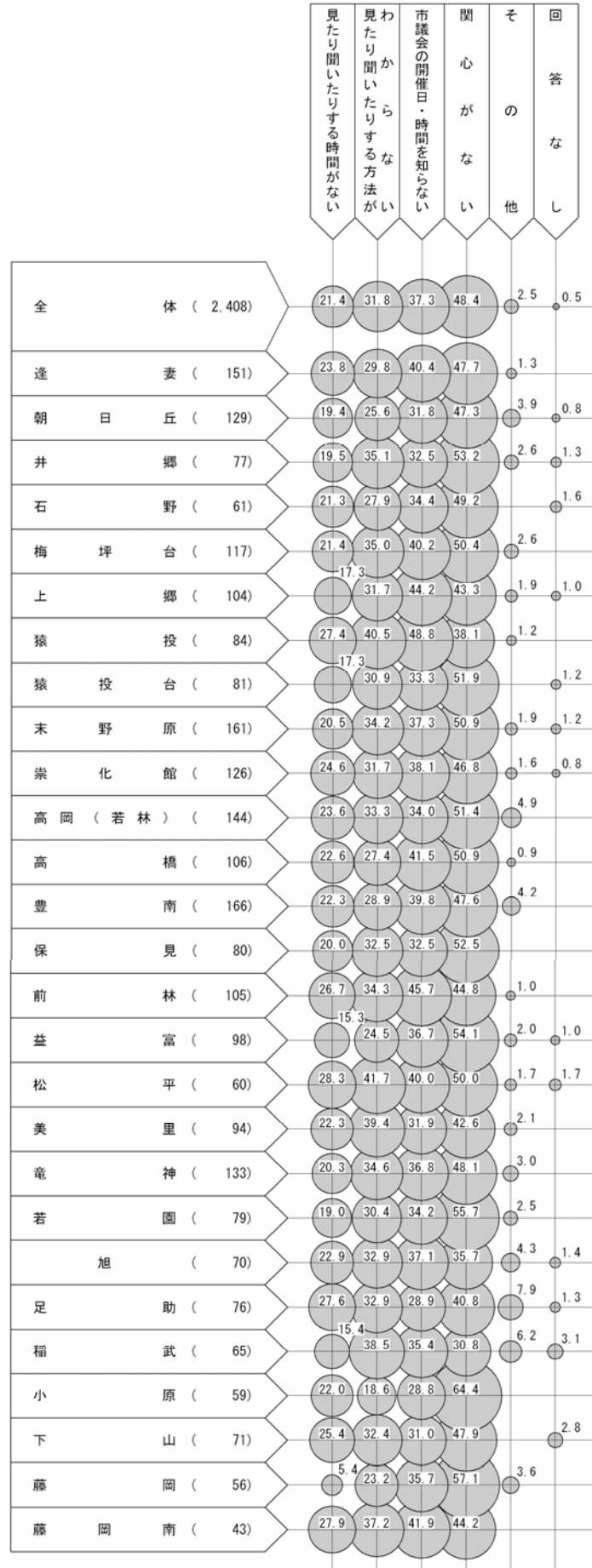


図21 見聞したことがない理由（居住地区別）



(6) ホームページ閲覧

問 2 4 あなたは、市議会ホームページを見たことがありますか。(○は1つ)

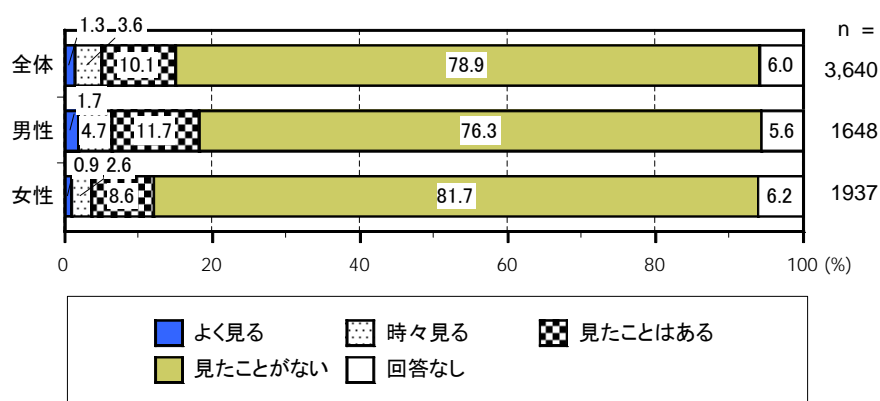
【全体】

- 市議会ホームページを「見たことはある」は10.1%、「時々見る」は3.6%、「よく見る」はわずかです。
- 「見たことがない」は、80%近くです。

【性別】

- 男性では、「見たことはある」が女性よりも若干高くなっており、女性では「見たことがない」が80%を超えています。

図22 市議会ホームページ閲覧（性別）



【年齢別】

- 年齢が高くなるにしたがって、「見たことがない」の割合が低くなる傾向があります。
- 一般的にパソコンに疎い高齢層において、「見たことはある」「時々見る」の割合が高くなっており、関心があればホームページが利用されると言えます。

図23 市議会ホームページ閲覧（年齢別）

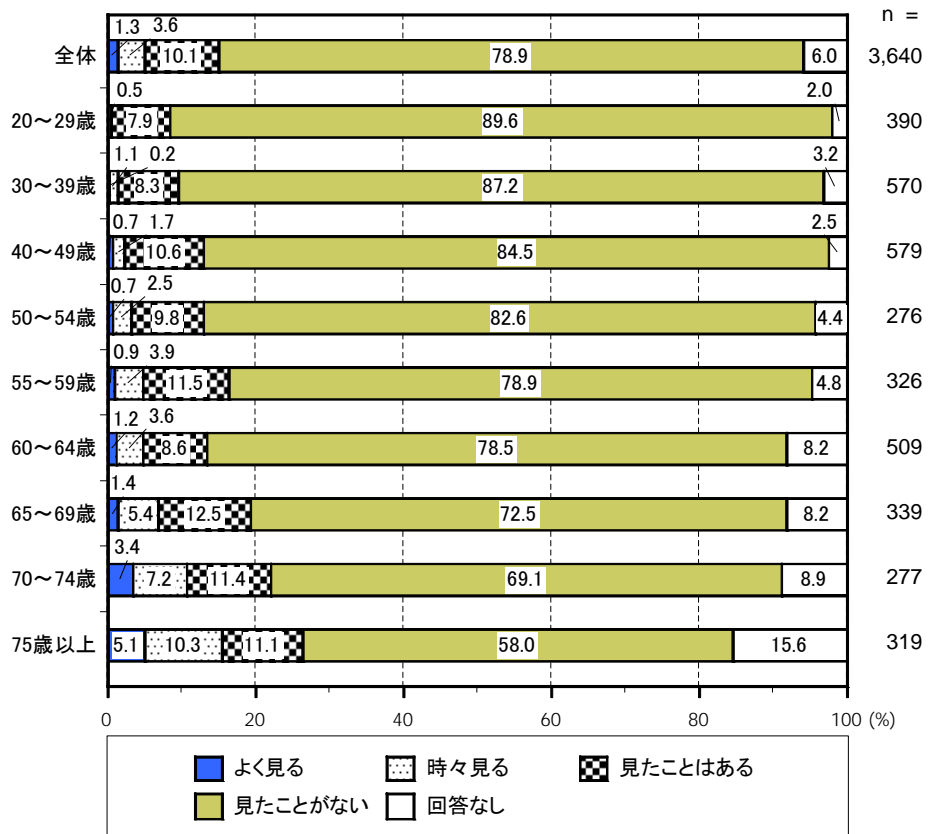
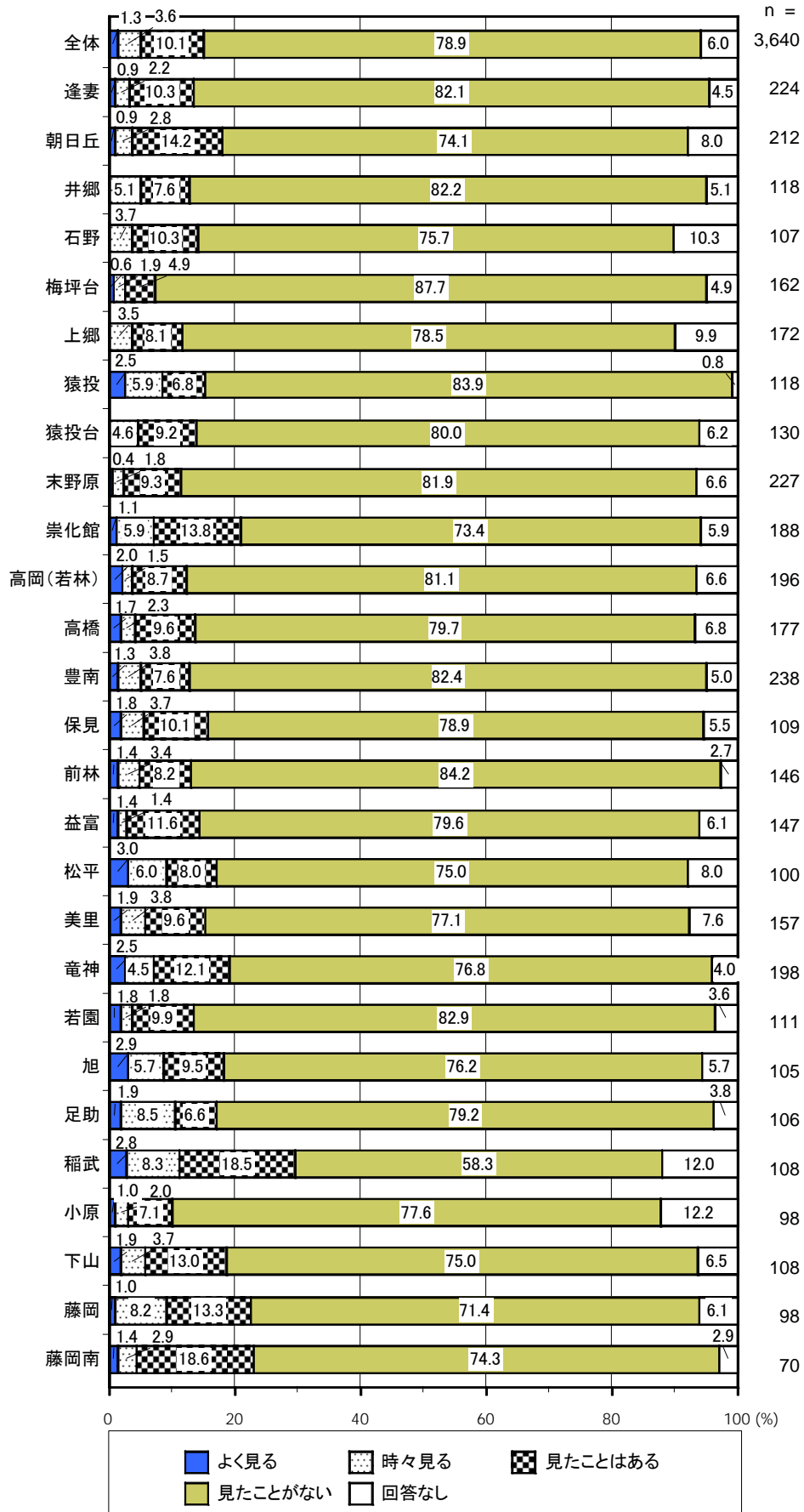


図24 市議会ホームページ閲覧（居住地区別）



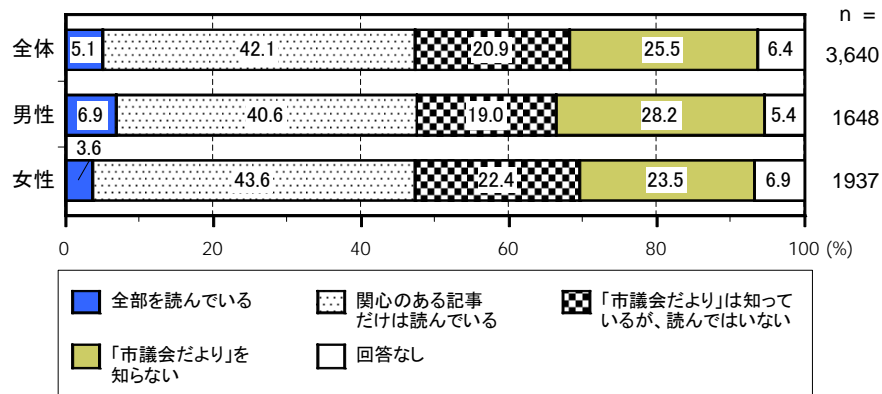
(7) 市議会だよりについて

問 2 5 あなたは、「市議会だより(年5回 発行)」を読んでいますか。(○は1つ) なお、「3.「市議会だより」は知っているが、読んではいない」とご回答の方は、追加質問にもお答えください。

【全体】

- 市議会だよりを「全部を読んでいる」は5.1%で「関心のある記事だけは読んでいる」を合わせると半数近くが読んでいます。
- 「市議会だより」は知っているが、読んではいない」が20.9%、「市議会だより」を知らない」が25.5%です。
- このように、読んでいる回答者と、読んでいない回答者がほぼ拮抗しています。

図25 市議会だよりについて (性別)



【「市議会だより」は知っているが、読んではいない場合、どのような内容であれば読むか(筆記)】(追加質問)

- 「市議会だより」は知っているが、読んではいない」という回答者に対して、どのような内容であれば読むのかについて筆記回答をしてもらった結果、97件の意見がありました。
- わかりやすい内容や読みやすいものにするという、紙面のデザインについての意見が多くありました。
- 内容については、議会や議員活動についての情報を掲載するという意見があります。
- そのほかでは、市民生活に身近な内容について掲載することを求めています。具体的には、子育てや教育について、バスや道路など交通について、税金についての内容や、地域に密着したことなどです。

【年齢別】

○20～29歳では読んでいる（「全部を読んでいる」＋「関心のある記事だけは読んでいる」）が約23%ですが、50歳にかけて割合が高くなり、50～64歳と75歳以上では半数以上、65～74歳では概ね60%以上となっています。

○40～49歳では「市議会だより」は知っているが、読んではいない」が4分の1みられます。

○また、若い年齢層ほど「市議会だより」を知らない」傾向がうかがえます。

図26 市議会だよりについて（年齢別）

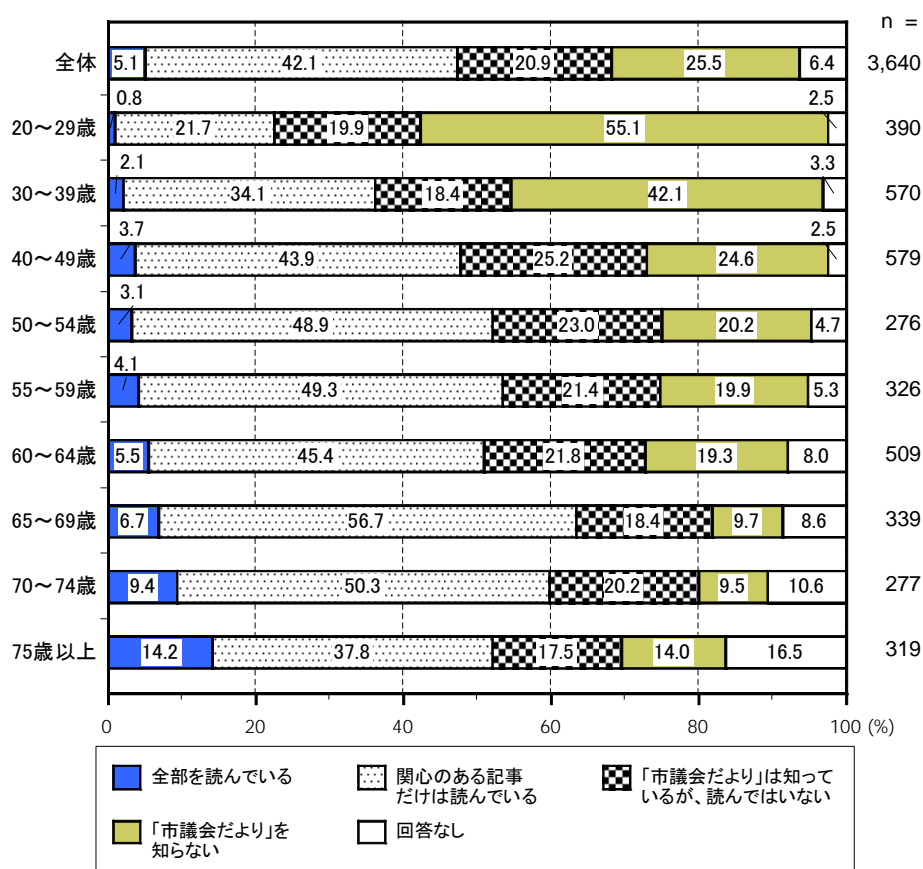
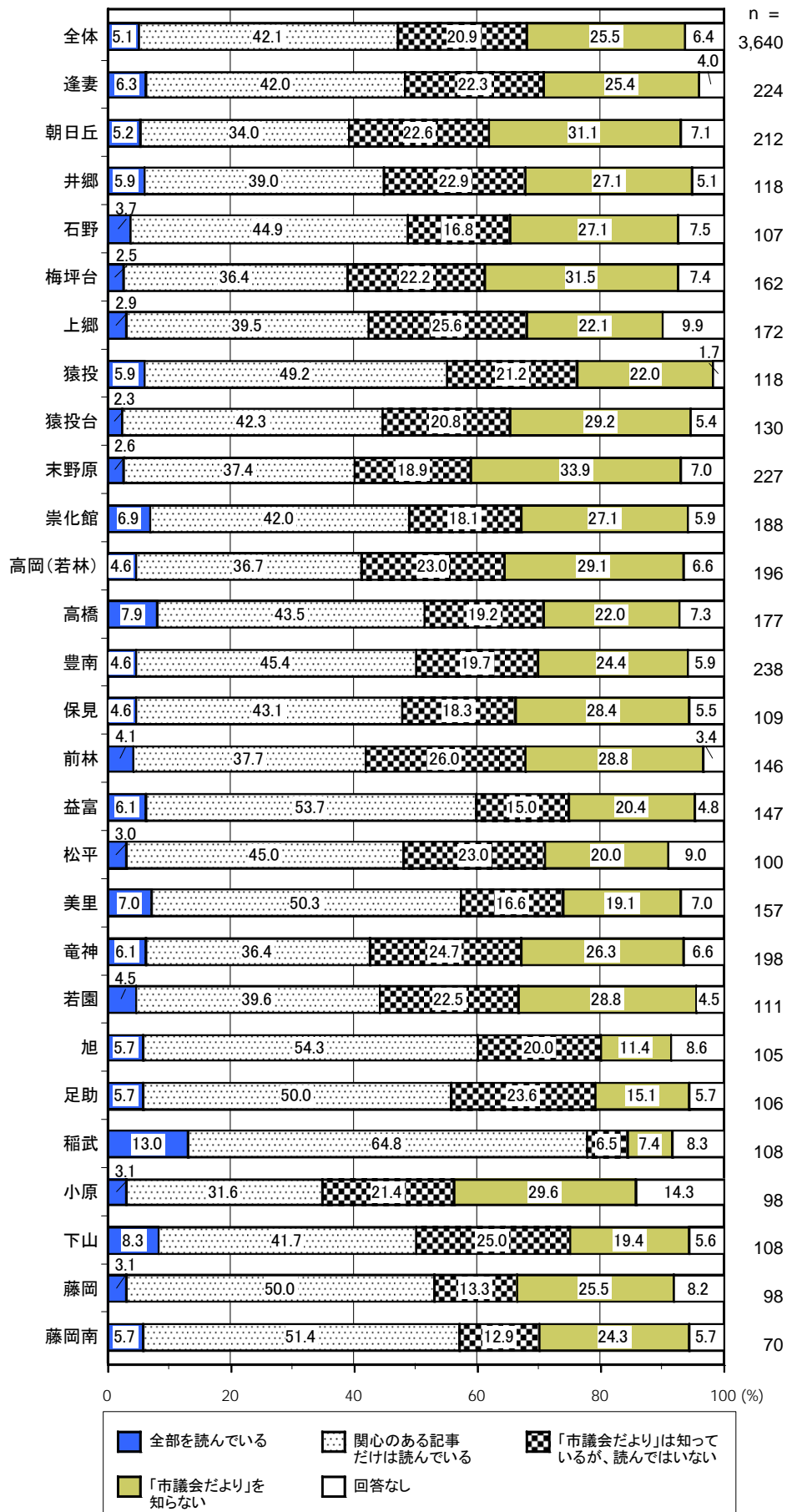


図27 市議会だよりについて（居住地区別）



(8) 情報取得の有無

問26-1 あなたは、「市議会だより」以外で議会に関する情報を得ていますか。(〇は1つ)

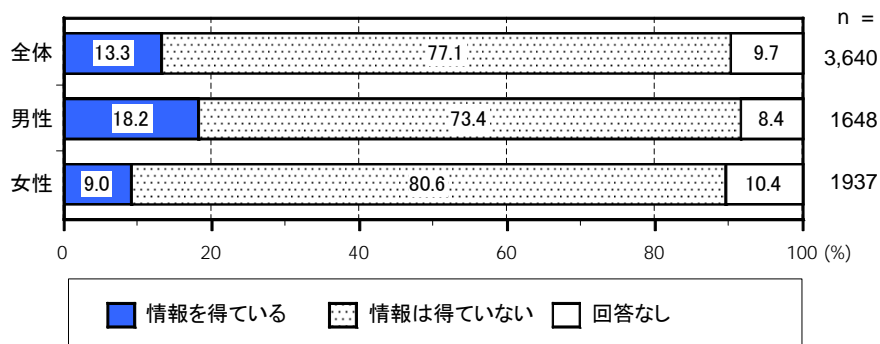
【全体】

○「市議会だより」以外で議会に関して「情報を得ている」が13.3%、「情報は得ていない」が77.1%です。

【性別】

○男性で「情報を得ている」が18.2%で、女性の倍のポイントとなっています。女性では80%が「情報は得ていない」と回答しています。

図28 情報取得の有無（性別）



【年齢別】

○60～69 歳を中心として中高年において、「情報を得ている」の割合が高くなっています。

○20～39 歳では、「情報は得ていない」が90%以上に見られます。

図29 情報取得の有無（年齢別）

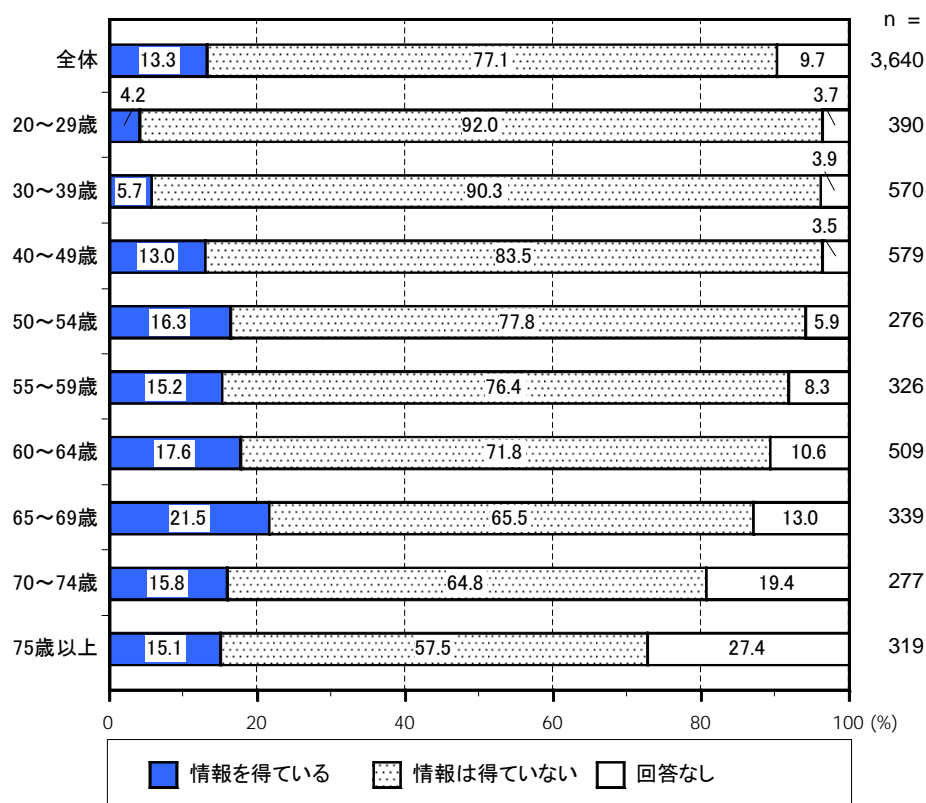
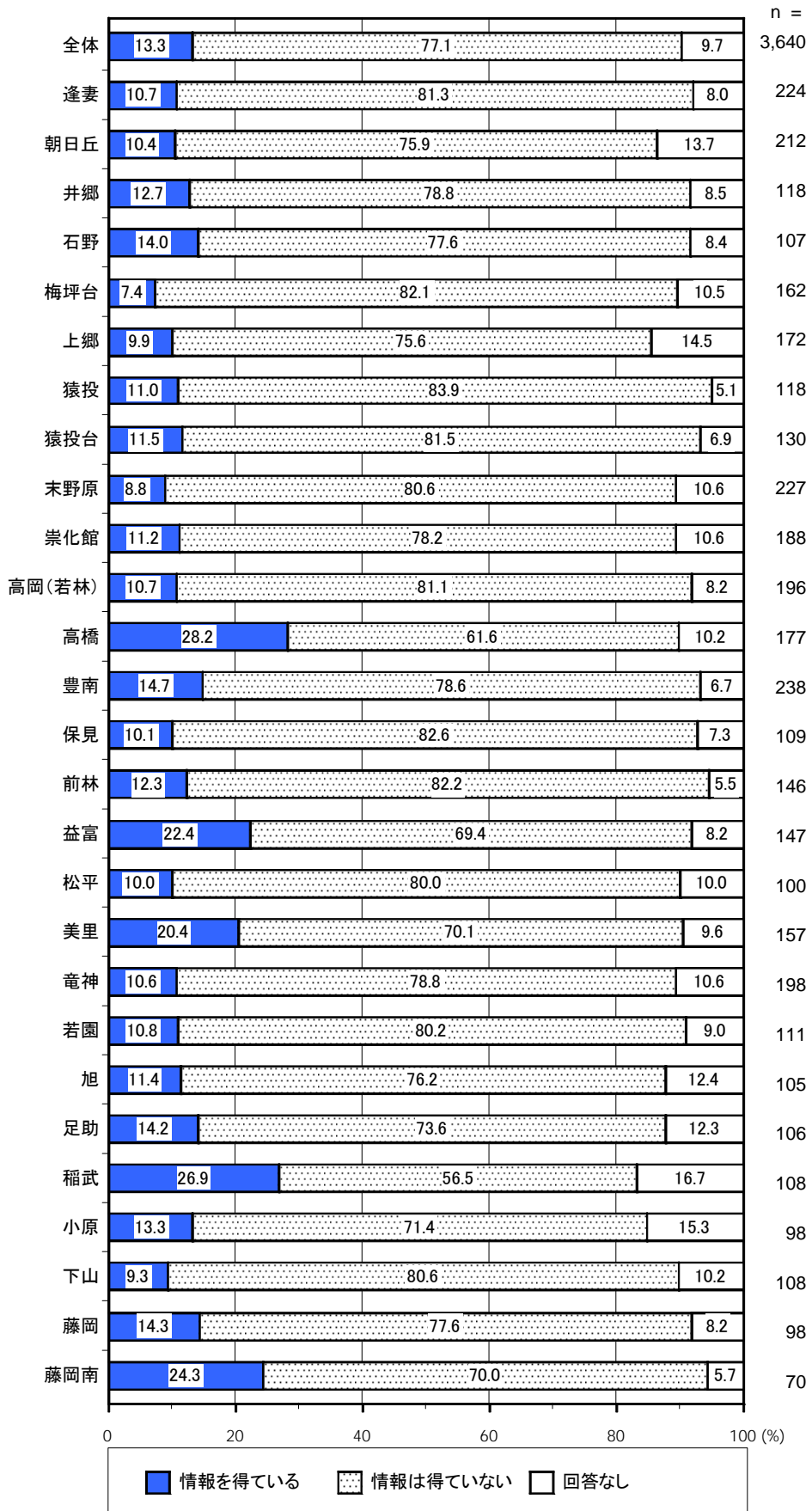


図30 情報取得の有無（居住地区別）



前問で「1.情報を得ている」とお答えの方にお聞きます。

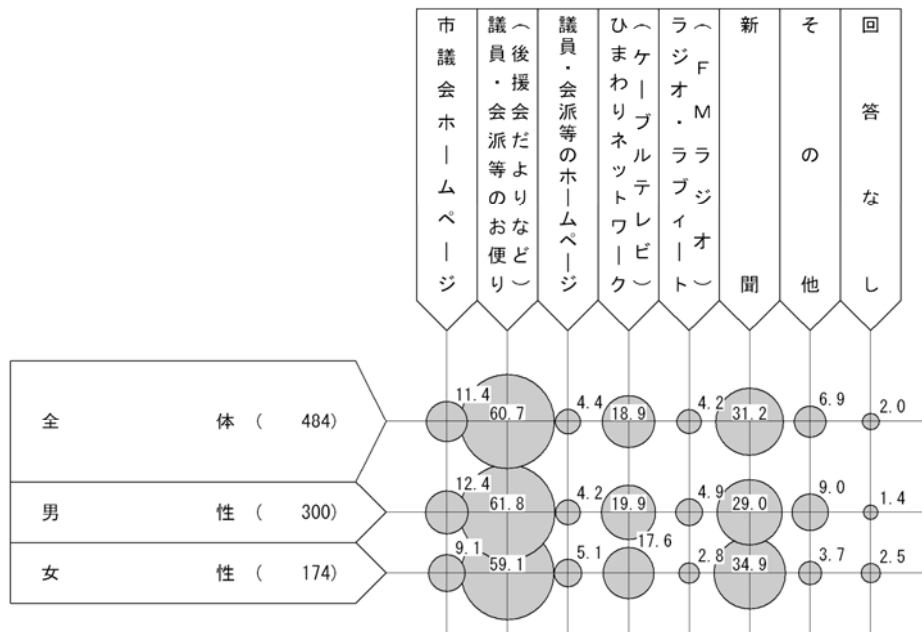
(9) 情報源

問26-2 該当する情報源をお選びください。(該当するものすべてに○)

【全体】

- 「市議会だより」以外で議会に関して情報を得る情報源については、「議員・会派等のお便り（後援会だよりなど）」が60.7%と圧倒的に多くなっています。次いで「新聞」が31.2%、「ひまわりネットワーク（ケーブルテレビ）」が18.9%、「市議会ホームページ」が11.4%です。
- 「議員・会派等のホームページ」は4.4%と低くなっていますが、「議員・会派等のお便り（後援会だよりなど）」を中心として、議員・会派の情報が市民にとって大きな情報源となっています。

図31 情報源について(性別)



【年齢別】

- 50～54歳と60～69歳、75歳以上で、「議員・会派等のお便り（後援会だよりなど）」が65%を超えて高くなっており、特に65～69歳では73.3%と最も高くなっていきます。
- 55～59歳では「新聞」が42.9%、50～54歳では「議員・会派等のホームページ」が12.6%で、ほかの年齢層よりも突出して高いのが特徴です。

図32 情報源について（年齢別）

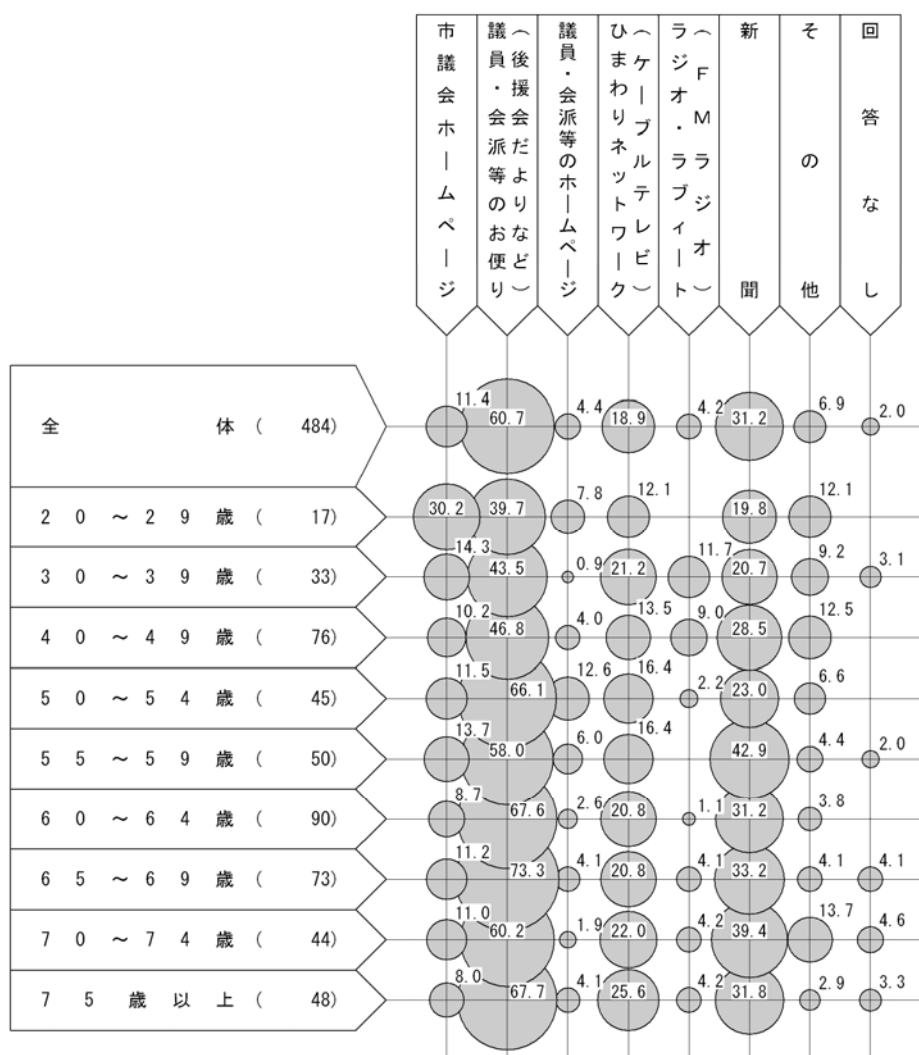
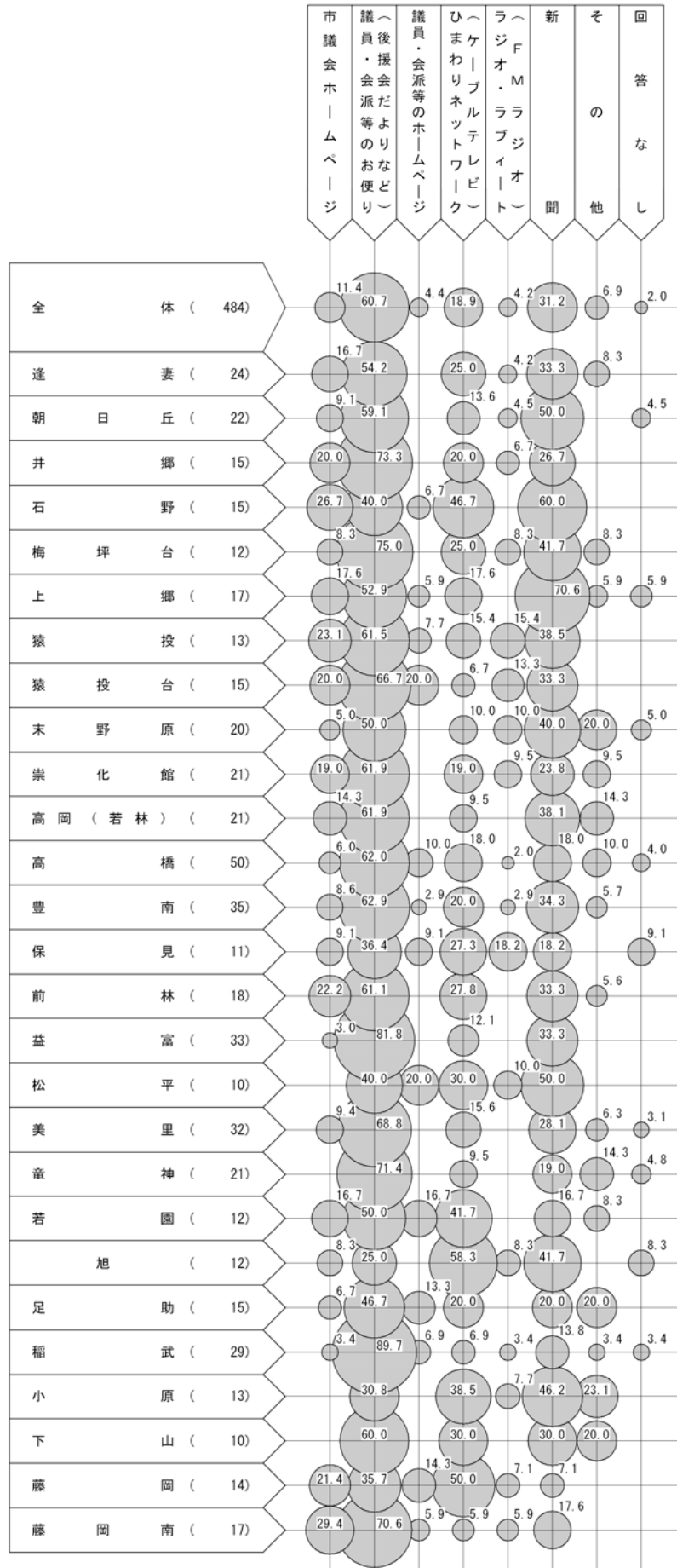


図33 情報源について (居住地区別)



(10) 「豊田市議会基本条例」制定の認知

問27 あなたは、「豊田市議会基本条例(平成21年5月可決)」が制定されたことを知っていますか。(○は1つ)

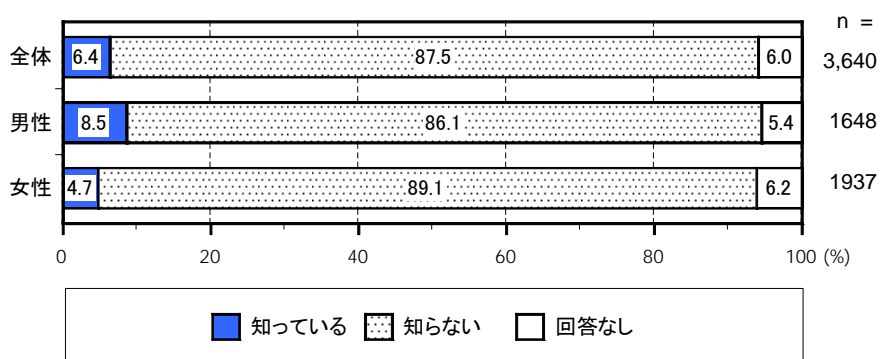
【全体】

○豊田市議会基本条例が制定されたことについて「知っている」は6.4%、「知らない」は87.5%であり、認知度が非常に低くなっています。

【性別】

○男性では「知っている」が8.5%で、女性よりやや高くなっています。

図34 「豊田市議会基本条例」制定の認知（性別）



【年齢別】

○市議会に関心がある（問 21 で関心が「ある」＋「どちらかといえばある」）回答者が半数以上いる 70 歳以上の年齢層でも、「知っている」が約 10%にとどまっています。

図35 「豊田市議会基本条例」制定の認知（年齢別）

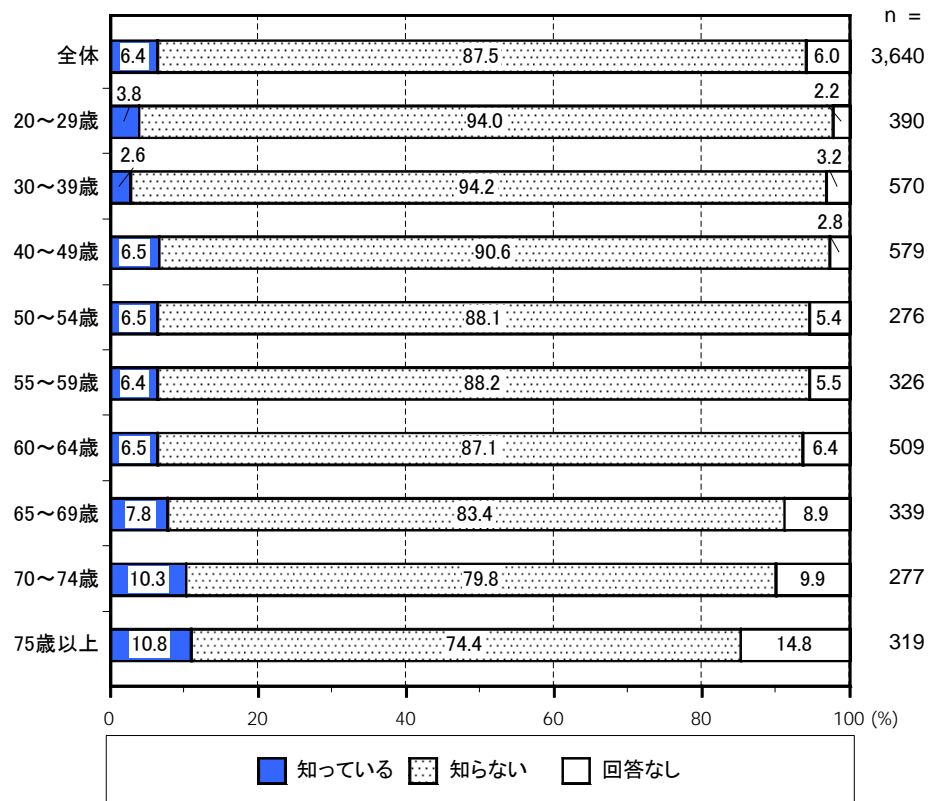
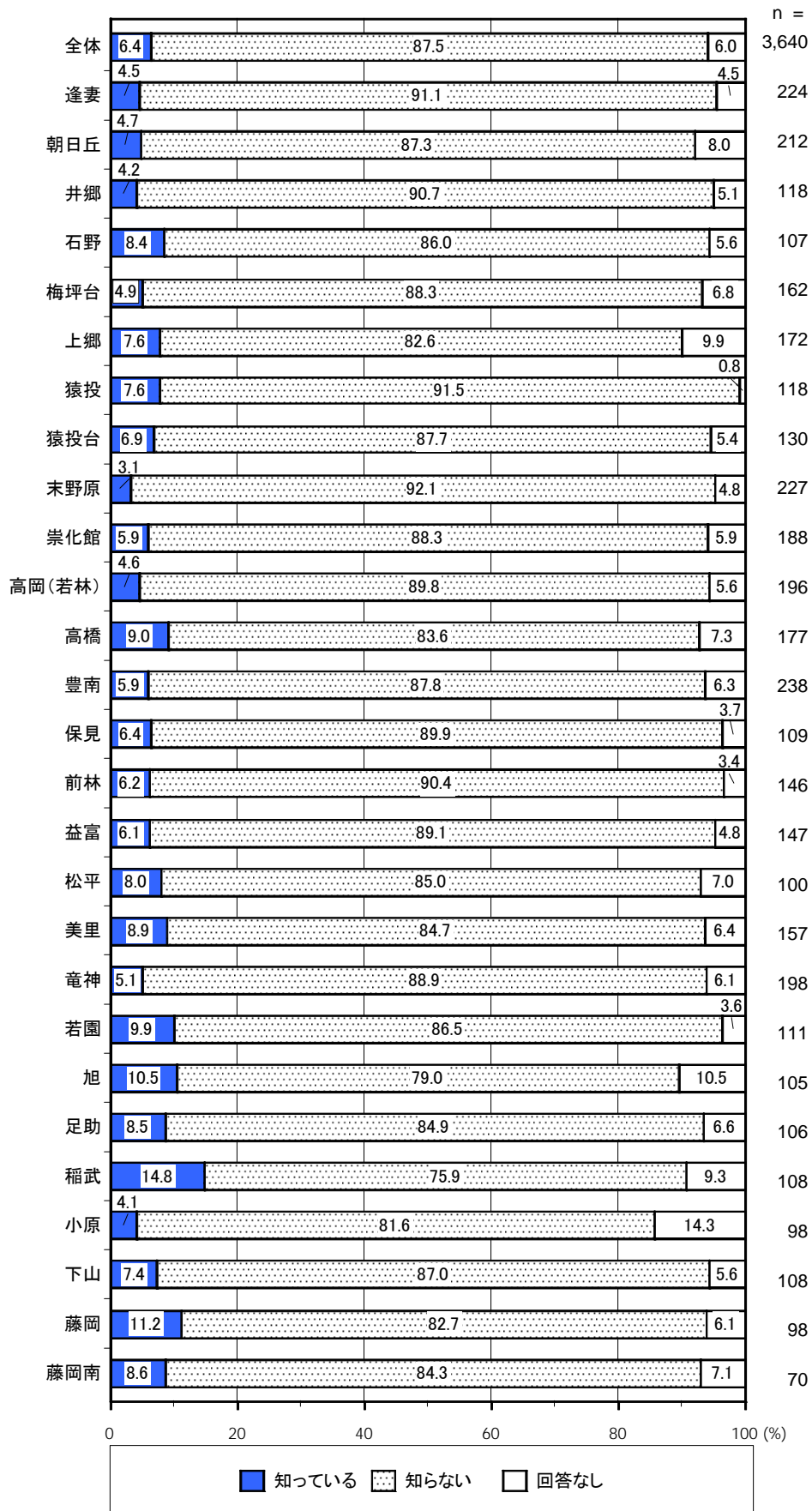


図36 「豊田市議会基本条例」制定の認知（居住地区別）



(11) 議会報告会への参加状況

問28 あなたは、市議会が主催する議会報告会に参加したことがありますか。(○は1つ)

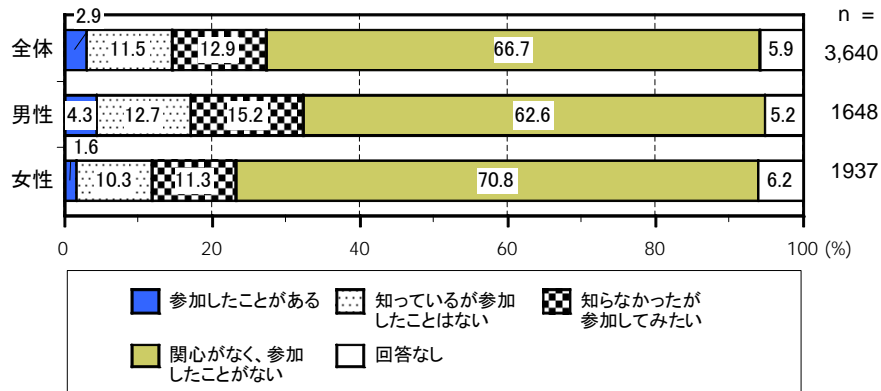
【全体】

- 議会報告会に「参加したことがある」は2.9%、で「知っているが参加したことはない」と「知らなかったが参加してみたい」はそれぞれ10%強です。
- 「関心がなく、参加したことがない」は、3分の2程度となっています。
- 議会報告会への参加を得るためには、市議会に対する関心を高めることと、参加意向がある人に議会報告会の開催などについて伝えることが課題であると考えられます。

【性別】

- 男性で「知らなかったが参加してみたい」が15.2%で、女性よりも高くなっています。
- 女性では、「関心がなく、参加したことがない」が70%に達しています。

図37 議会報告会への参加状況（性別）



【年齢別】

○中高年を中心に参加に関心を持っており、年齢が高くなるにしたがって、「関心がなく、参加したことがない」が概ね低くなっています。

○75歳以上で「参加したことがある」が約10%、65～74歳で「知らなかったが参加してみたい」が17%以上で、ほかの年齢層よりも高くなっています。

図38 議会報告会への参加状況（年齢別）

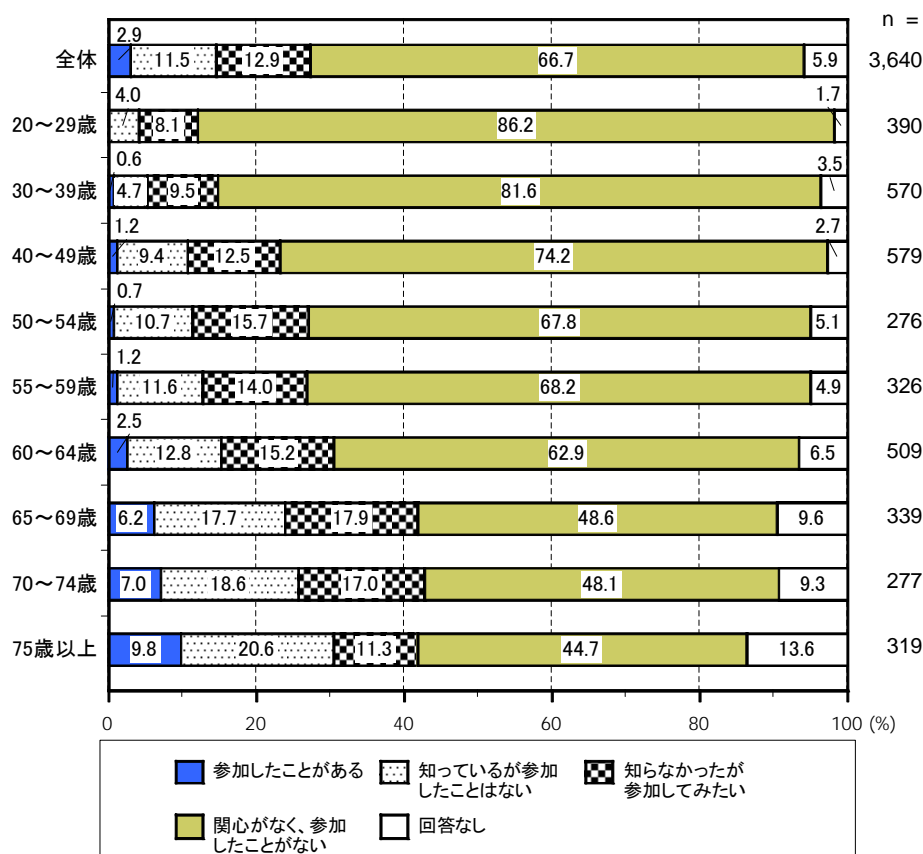
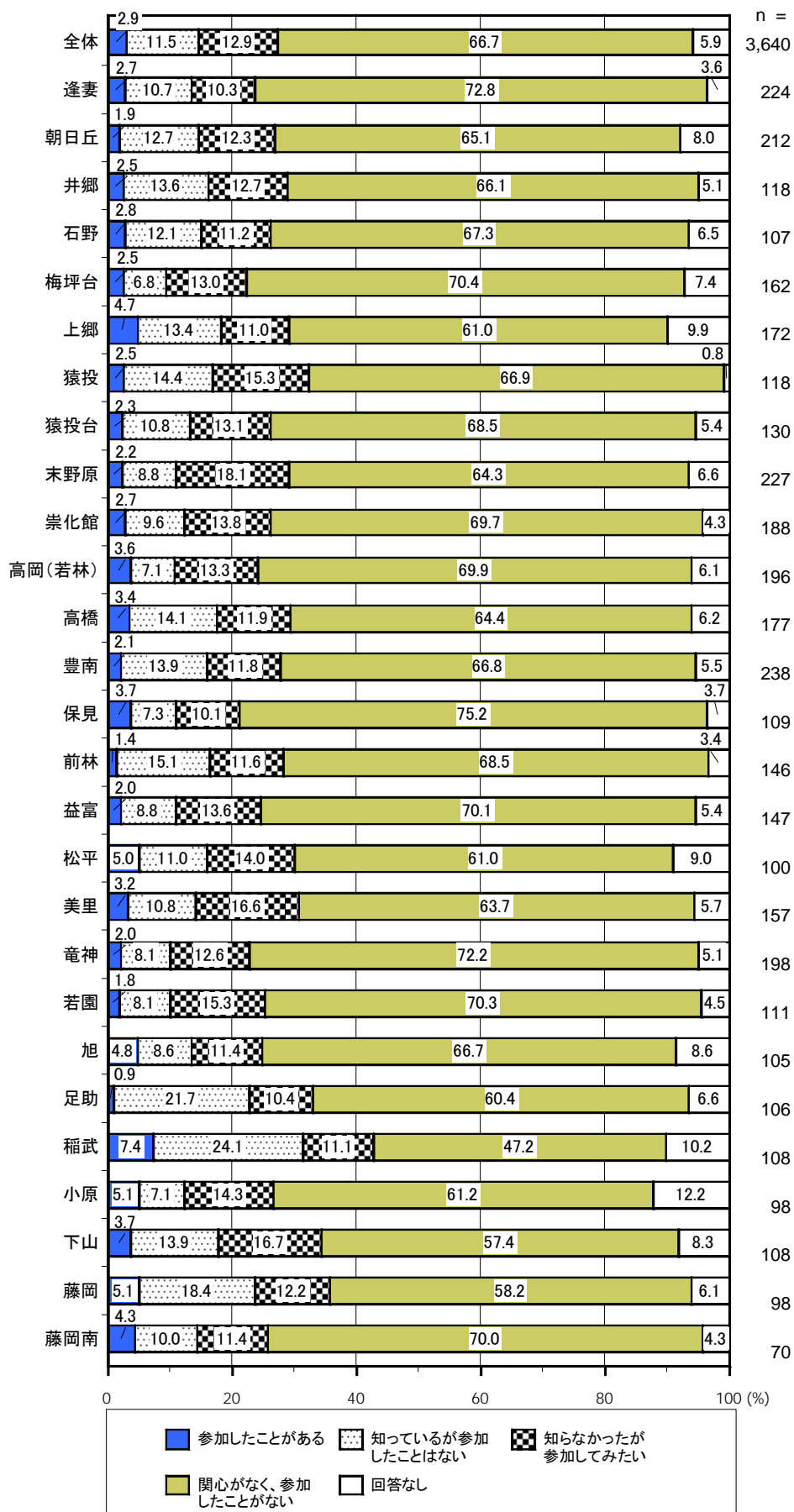


図39 議会報告会への参加状況（居住地区別）



(12) 選挙への参加状況

問29 あなたは、市議会議員の選挙に行きますか。(〇は1つ)

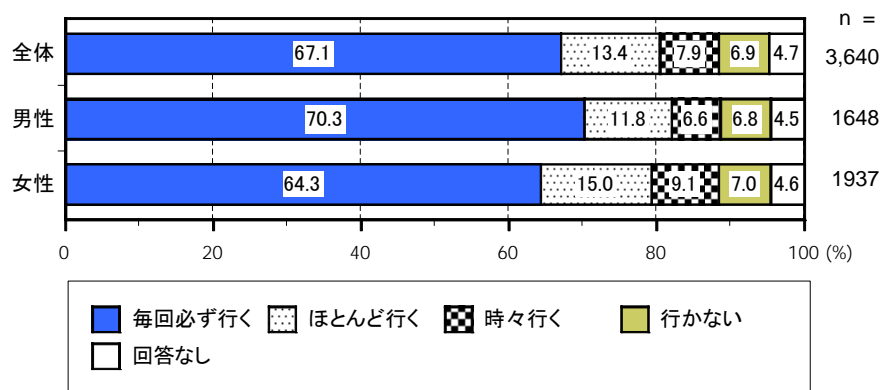
【全体】

- 市議会議員の選挙に「毎回必ず行く」は67.1%、「ほとんど行く」は13.4%で、合わせて80%以上がほぼ投票に行っています。
- 市議会に関心がある（問21で「ある」+「どちらかといえばある」）割合は31.6%ですが、投票にほぼ行く回答者はその2.5倍以上であり、投票に行くのみでなく市民の市議会の活動への関心を高めることが課題です。
- 「時々行く」と「行かない」は、それぞれ約7%です。

【性別】

- 男性で「毎回必ず行く」が70.3%で、女性より割合が高くなっていますが、「毎回必ず行く」と「ほとんど行く」を合わせると、男女とも80%程度です。

図40 選挙への参加状況（性別）



【年齢別】

- 市議会に関心がある（問 21）割合が 13.6%と低い 20～29 歳でも、投票にほぼ行く（「毎回必ず行く」＋「ほとんど行く」）は 65%近くみられます。しかし、この年齢層では「行かない」が 20%を超えていて年齢層の中で突出しています。
- 20 歳から 50 歳にかけて投票にほぼ行く割合は高くなり、50～74 歳では概ね 85%以上みられます。

図41 選挙への参加状況（年齢別）

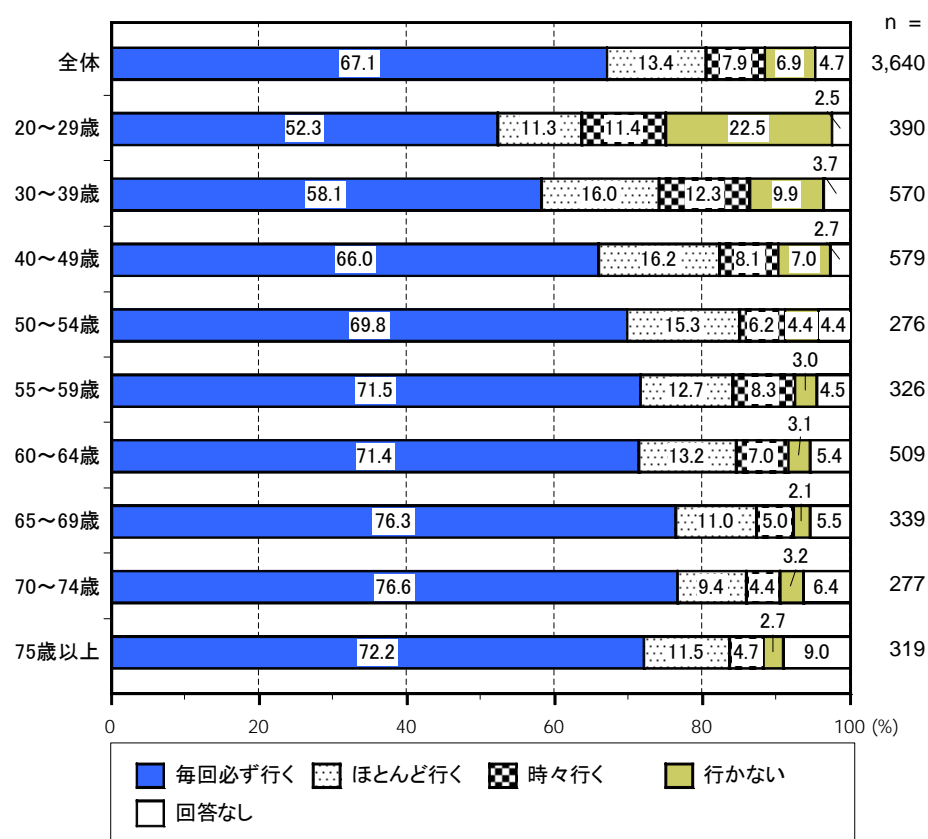
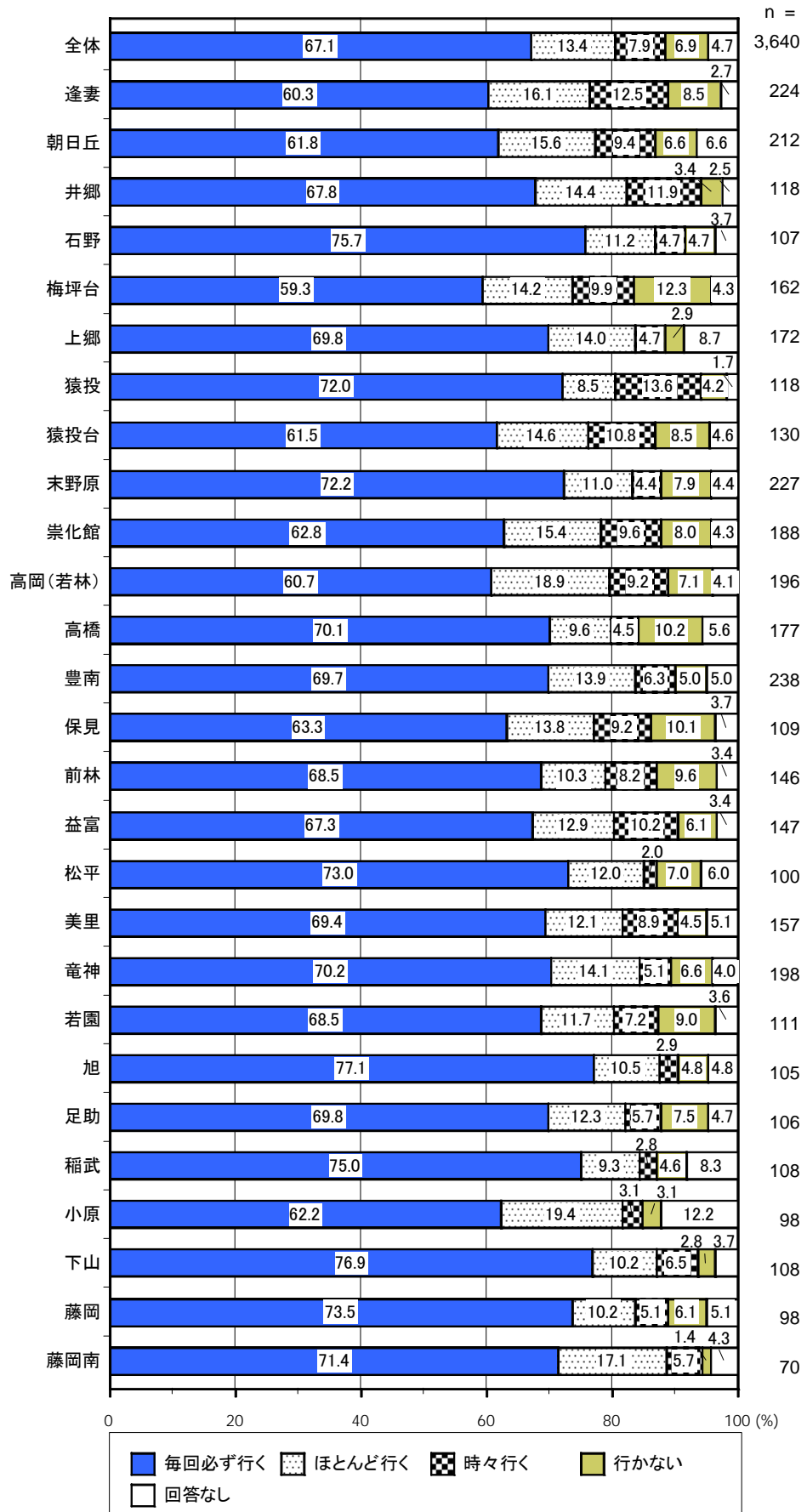


図42 選挙への参加状況（居住地区別）



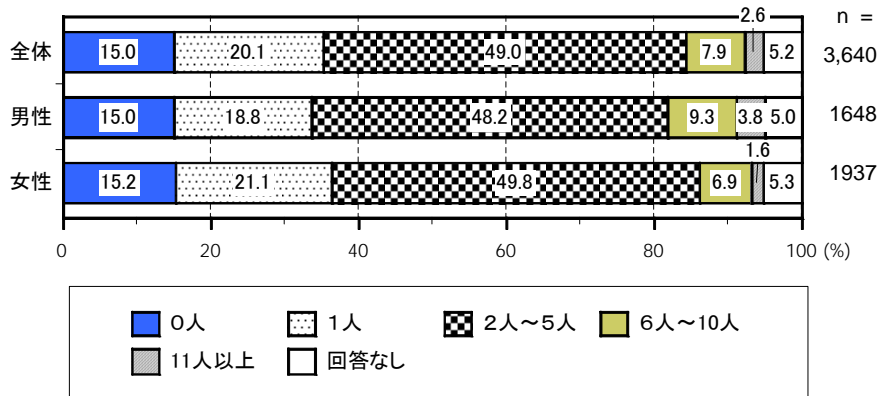
(13) 市議会議員名の認知度

問30 あなたは、現在の市議会議員の名前を何人ぐらいご存知ですか。(〇は1つ)

【全体】

- 市議会議員を知っている人数では、半数近くが「2人～5人」と回答しており、また、6人以上が10%強であり、合わせて60%近くが地元や会派を中心に複数の議員を知っていると思われます。
- 「1人」は20.1%であり、上記の2人以上を合わせると、80%程度の回答者が1人は知っていることとなります。
- 全く知らないという「0人」は、15.0%です。

図43 市議会議員名の認知度（性別）



【年齢別】

○50～74歳では、2人以上知っている回答者は70%以上みられます。

○54歳以下では若い年齢層ほど「0人」の割合が高くなり、20～29歳では40.7%で、投票しても名前を覚えていない人もいると思われます。

図44 市議会議員名の認知度（年齢別）

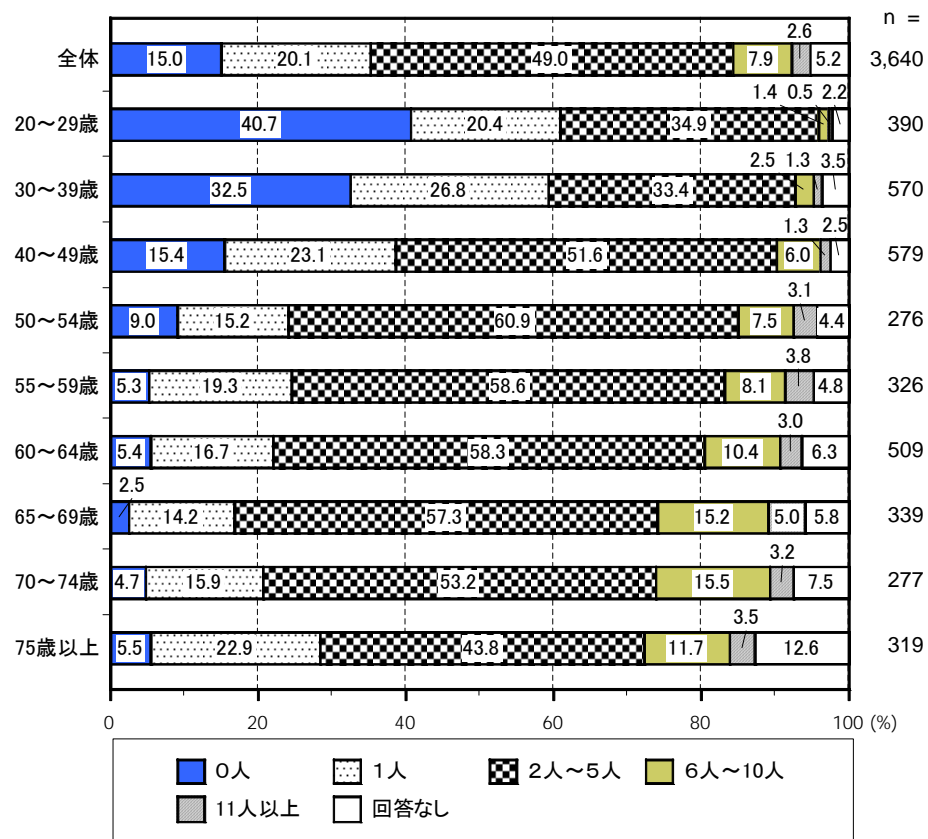
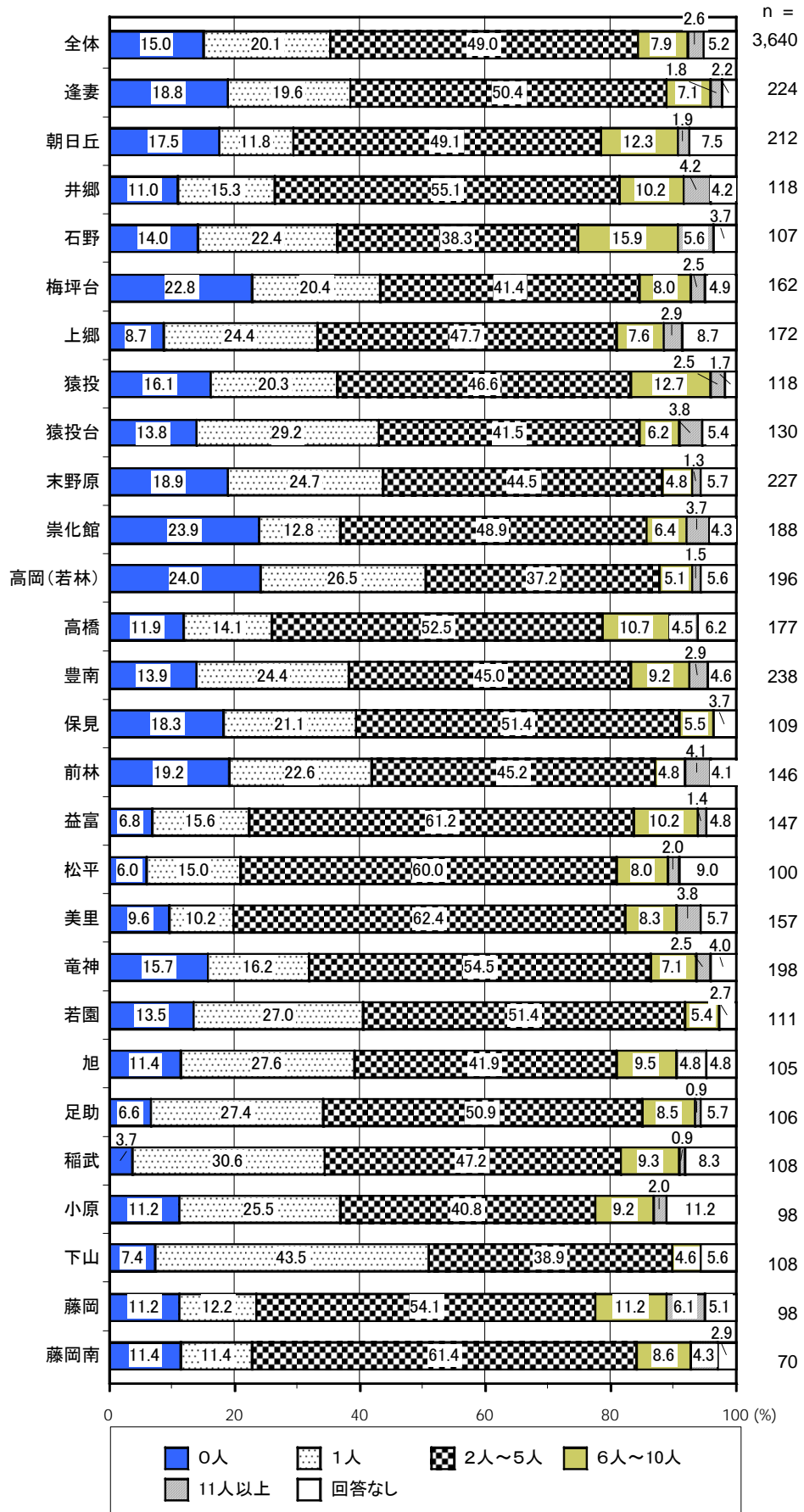


図45 市議会議員名の認知度（居住地区別）



(14) 意見や要望について

問31-1 あなたは、市議会議員に自分の意見や要望を伝えたことがありますか。(○は1つ)

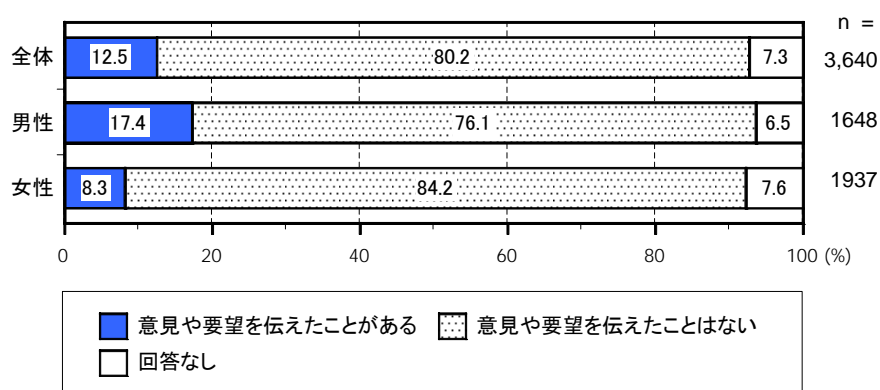
【全体】

○市議会議員に「意見や要望を伝えたことがある」は12.5%、「意見や要望を伝えたことはない」は80.2%です。

【性別】

○男性で「意見や要望を伝えたことがある」が17.4%で、女性の2倍以上のポイントとなっています。

図46 意見や要望について (性別)



【年齢別】

○65歳以上で「意見や要望を伝えたことがある」がほかの年齢層よりも高く、20%程度みられます。

図47 意見や要望について（年齢別）

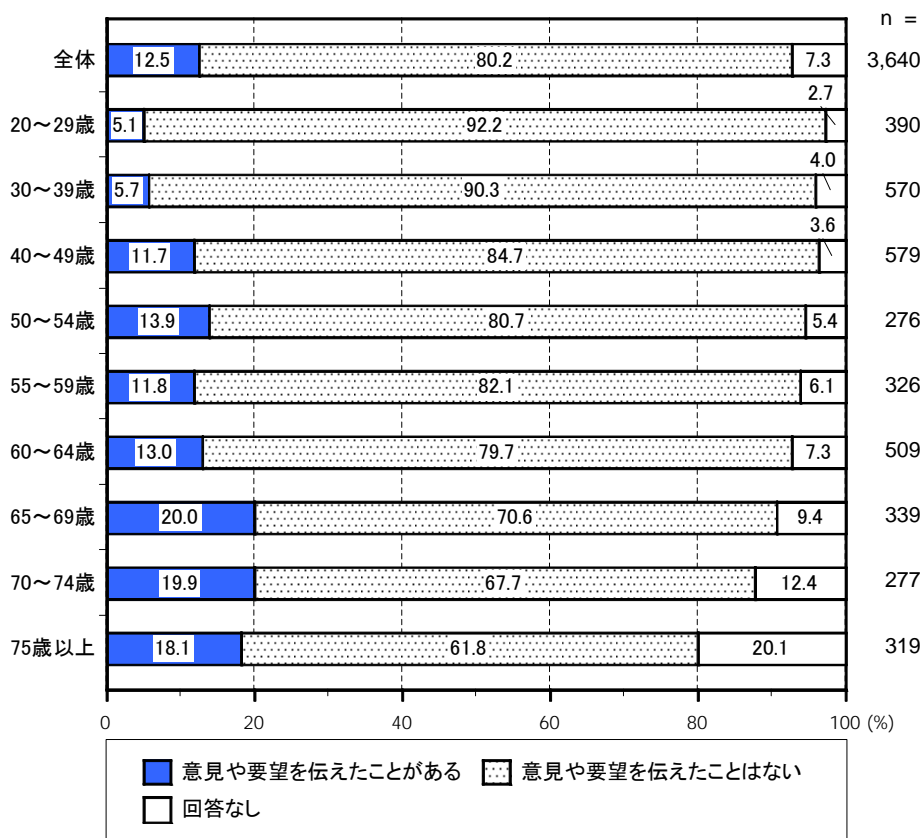
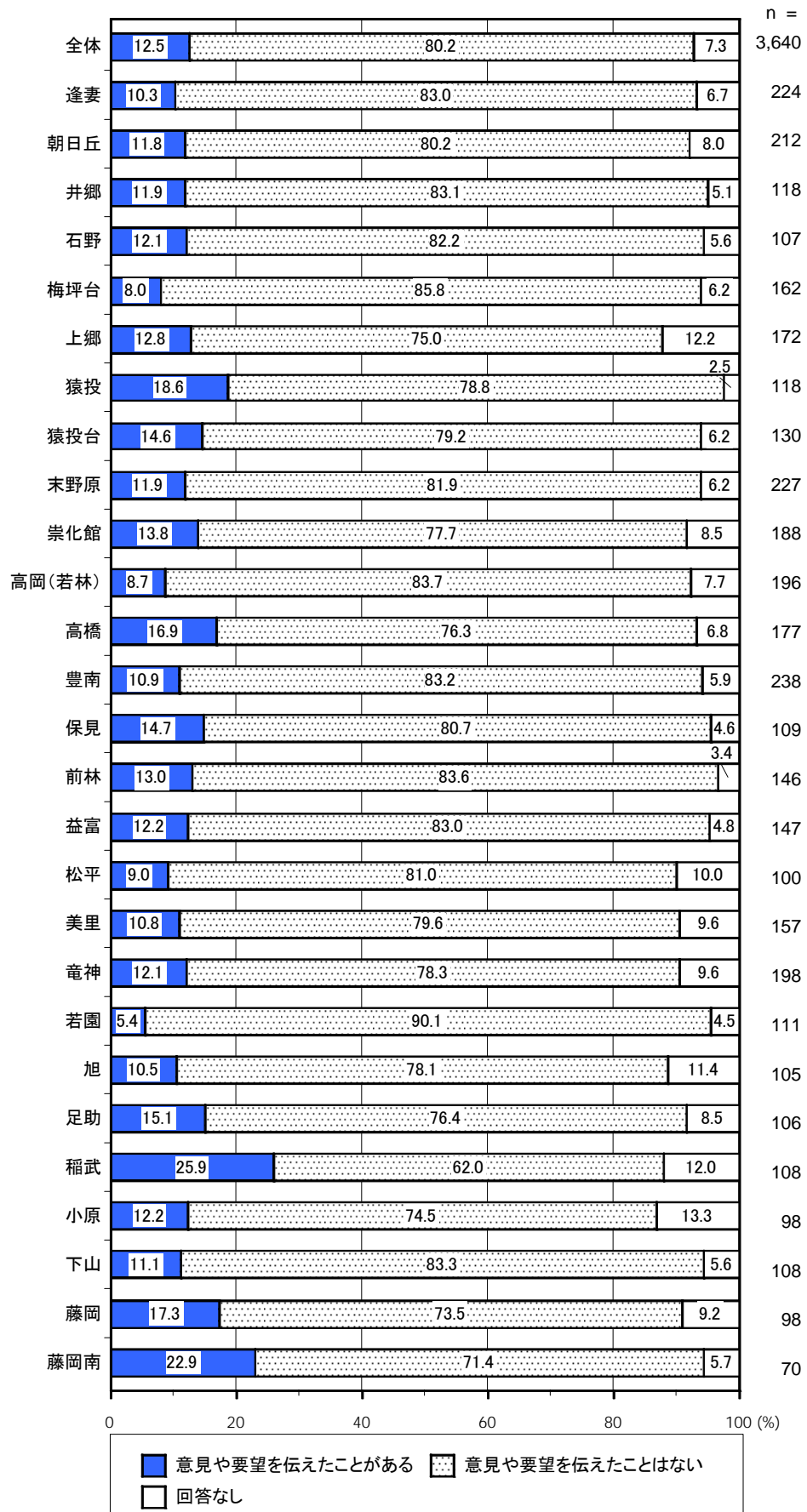


図48 意見や要望について（居住地区別）



前問で「1.意見や要望を伝えたことがある」とお答えの方にお聞きします。

(15) 意見や要望を伝える方法

問31-2 どのような方法で伝えましたか。(該当するものすべてに○)

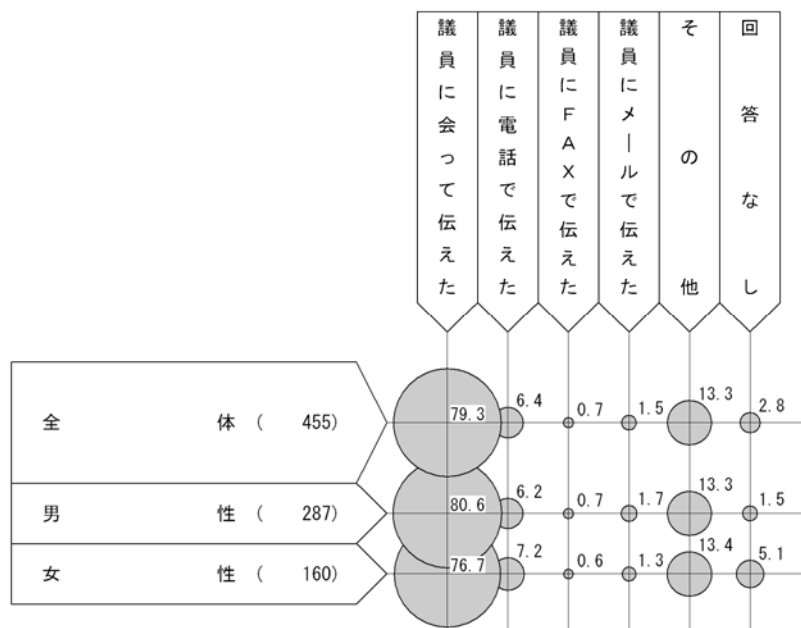
【全体】

- 市議会議員に意見や要望を伝えた方法では、「議員に会って伝えた」が約80%で圧倒的に多くなっています。
- 「議員に電話で伝えた」は6.4%で、「議員にFAXで伝えた」と「議員にメールで伝えた」はわずかであり、要望を伝えるためには直接会うという手段がとられることが非常に多い、あるいは、直接会う機会に要望を伝えていると考えられます。
- 「その他」の方法は13.3%みられますが、筆記回答によると、組合活動や会社、後援会の活動や集まり、自治区などを通じて伝えています。

【性別】

- 男性で「議員に会って伝えた」が80.6%で、女性よりもやや高くなっています。

図49 意見や要望を伝える方法について (性別)



【年齢別】

○50～54歳と65～69歳では、「議員に会って伝えた」が85%以上で、ほかの年齢層よりも高くなっています。

○20～29歳をはじめとする若い年齢層では、「その他」の割合がほかの年齢層よりも高くなっており、組合活動や会社などを通じて伝えていると考えられます。

図50 意見や要望を伝える方法について（年齢別）

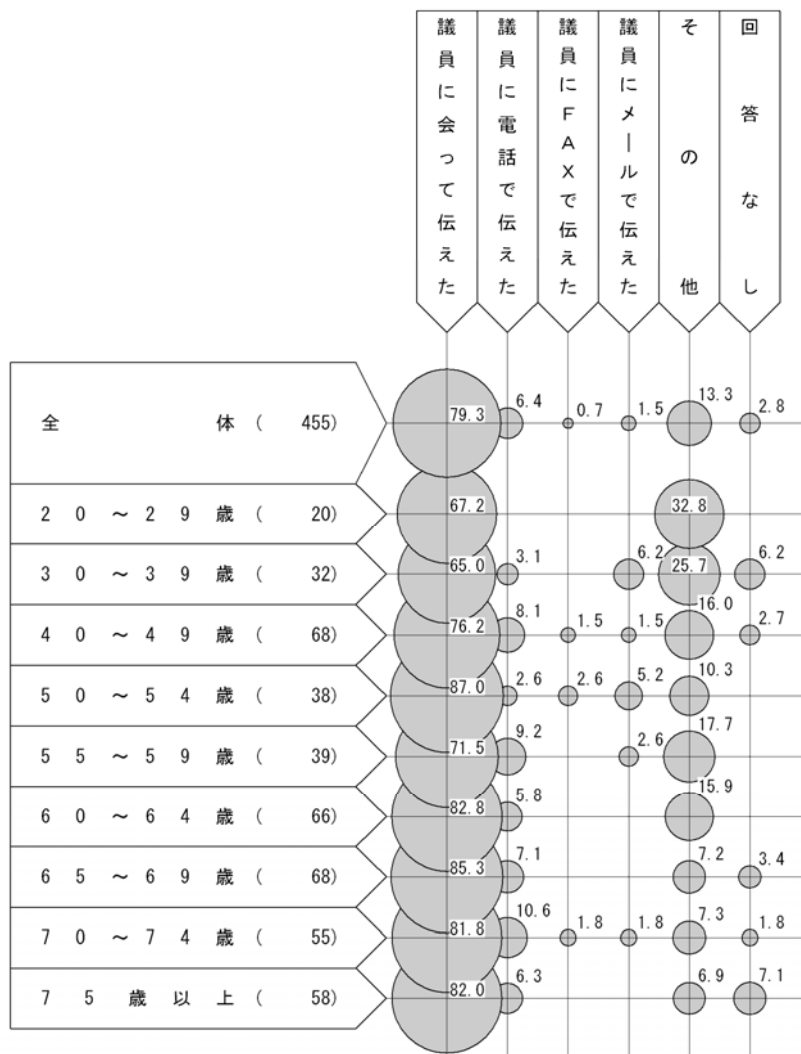
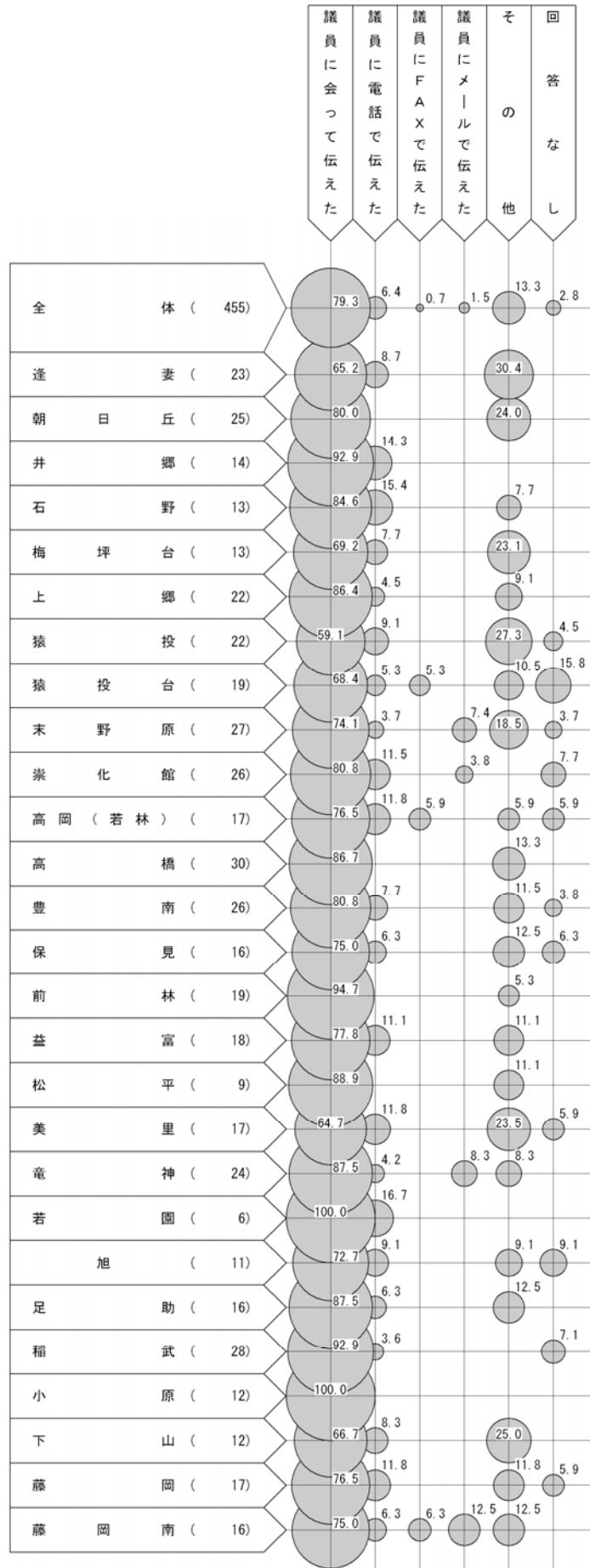


図51 意見や要望を伝える方法について（居住地区別）



問 31-1 で「2.意見や要望を伝えたことはない」とお答えの方にお聞きします。

(16) 意見や要望を伝えない理由

問 3 1 - 3 意見や要望を伝えない理由はなんですか。(該当するものすべてに○)

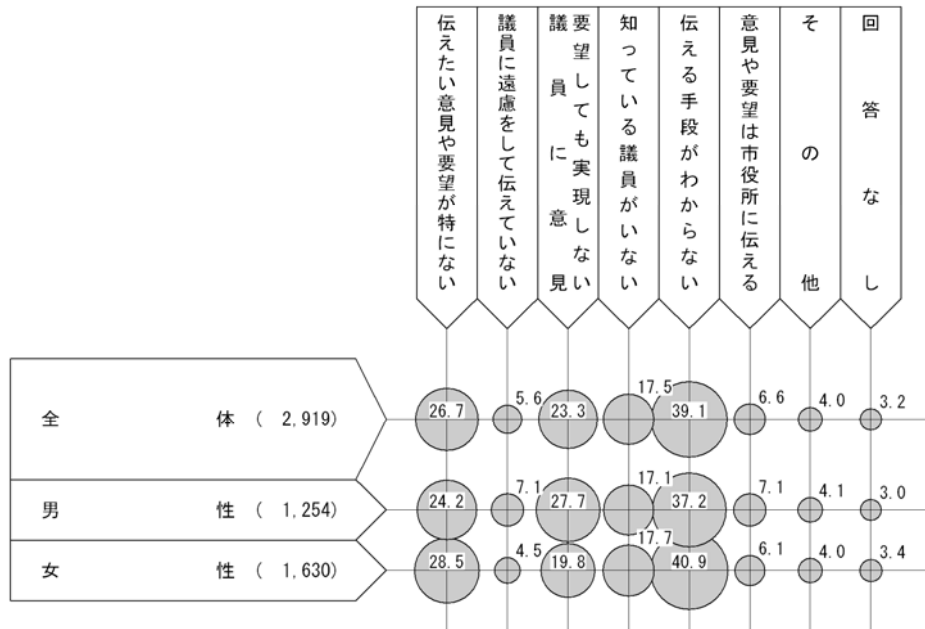
【全体】

- 市議会議員に意見や要望を伝えない理由は、「伝える手段がわからない」が 39.1%で最も多く、そのほか伝えるためのネックとして「知っている議員がいない」は 17.5%です。
- 一方、「伝えたい意見や要望が特にない」が 26.7%、「議員に意見要望しても実現しない」が 23.3%みられます。

【性別】

- 女性で「伝える手段がわからない」と「伝えたい意見や要望が特にない」の割合が、男性よりもやや高くなっています。
- 男性では「議員に意見要望しても実現しない」の割合が、女性よりも高くなっています。

図52 意見や要望を伝えない理由（性別）



【年齢別】

- 若年層になるにしたがって「伝える手段がわからない」の割合が高くなる傾向があり、20～39歳では半数を超えています。
- 30～39歳で「知っている議員がない」が22.9%で、ほかの年齢層よりやや高くなっています。
- 20～29歳で「議員に意見要望しても実現しない」(27.3%)、一方70歳以上の高齢層では「伝えたい意見や要望が特にならない」(30%以上)が、ほかの年齢層よりもやや高くなっており、若年と高齢層は、議員に対して冷めた見方をする回答者が若干目立ちます。

図53 意見や要望を伝えない理由（年齢別）

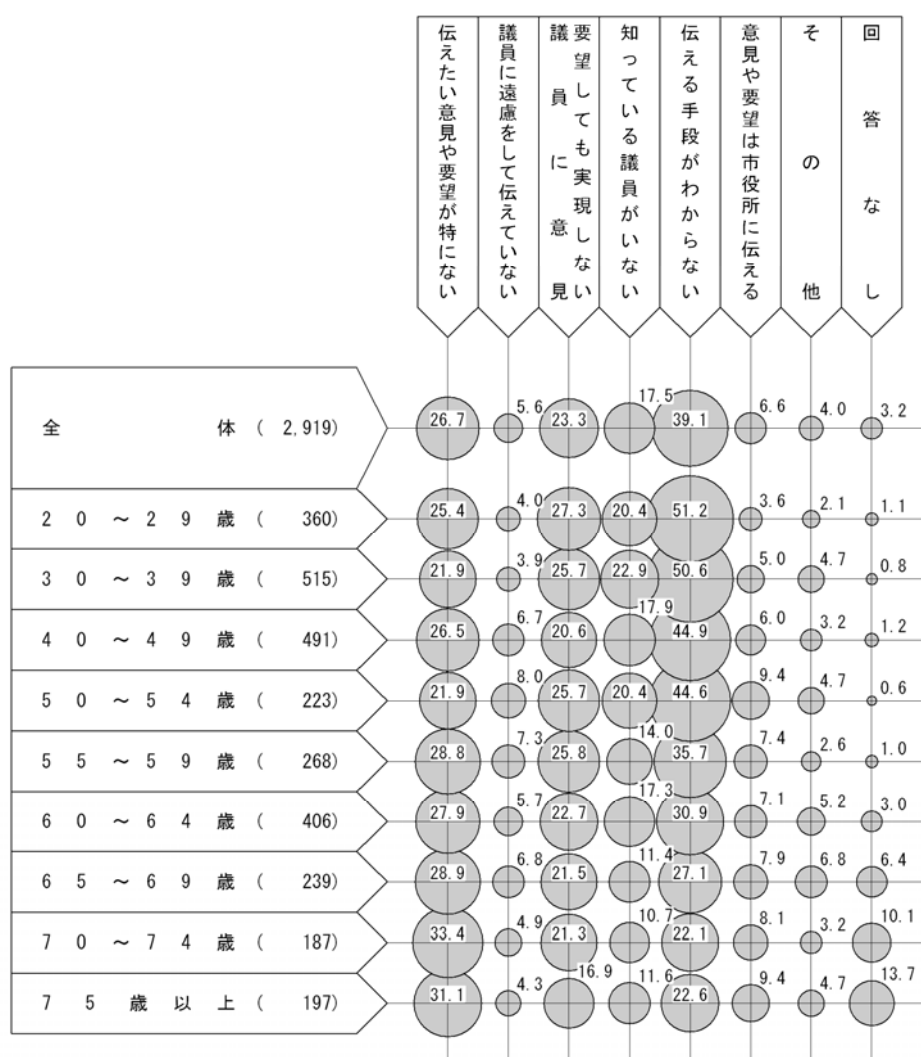
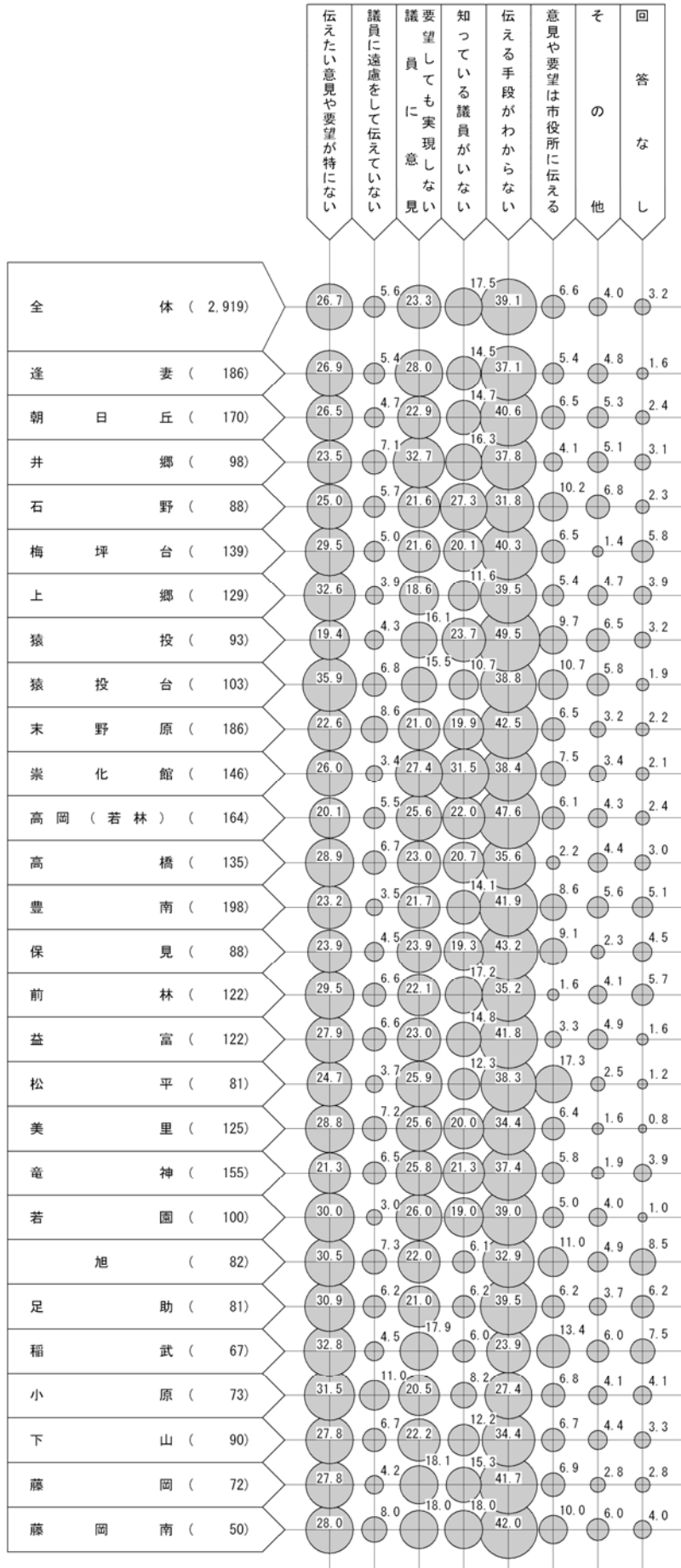


図54 意見や要望を伝えない理由（居住地区別）



(17) 報告会への参加状況

問32 あなたは、市議会議員(会派含む)の行う報告会に参加したことがありますか。(〇は1つ)

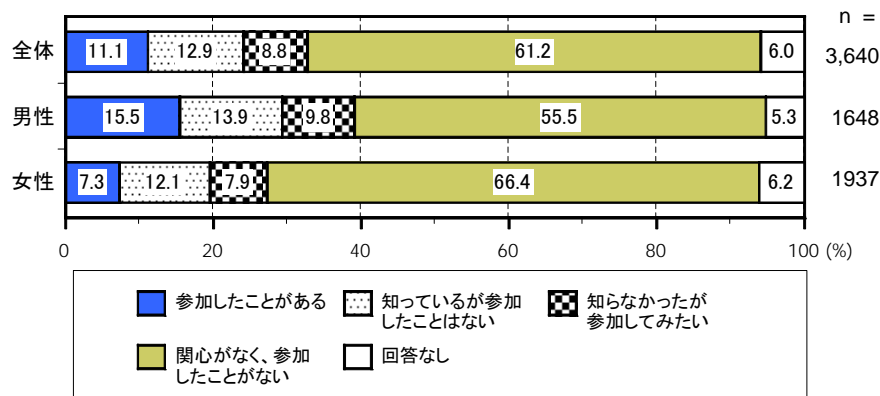
【全体】

- 市議会議員の報告会に「参加したことがある」は11.1%、「知っているが参加したことはない」は12.9%、「知らなかったが参加してみたい」が8.8%です。
- 「参加したことがある」と「知らなかったが参加してみたい」を合わせた約20%の回答者が、報告会への参加に前向きです。これは、市議会が主催する議会報告会への前向きな参加意識(問28の「参加したことがある」と「知らなかったが参加してみたい」)の15.8%よりも少し高くなっており、個人が支援し関心を持っている議員や会派へ足を運ぶ市民がやや多めです。
- 「関心がなく参加したことがない」は、61.2%です。

【性別】

- 男性で「参加したことがある」が15.5%で、女性の倍以上のポイントです。
- 女性では「関心がなく、参加したことがない」が66.4%で、男性よりも10ポイント以上高くなっています。

図55 報告会への参加状況(性別)



【年齢別】

○若い年齢層ほど「関心がなく、参加したことがない」の割合が高くなる傾向があり、20～29歳では85%近くに達しています。

○65歳以上で「参加したことがある」が20%を超えています、これに拮抗するほどに「知っているが参加したことはない」の割合も目立っています。

図56 報告会への参加状況（年齢別）

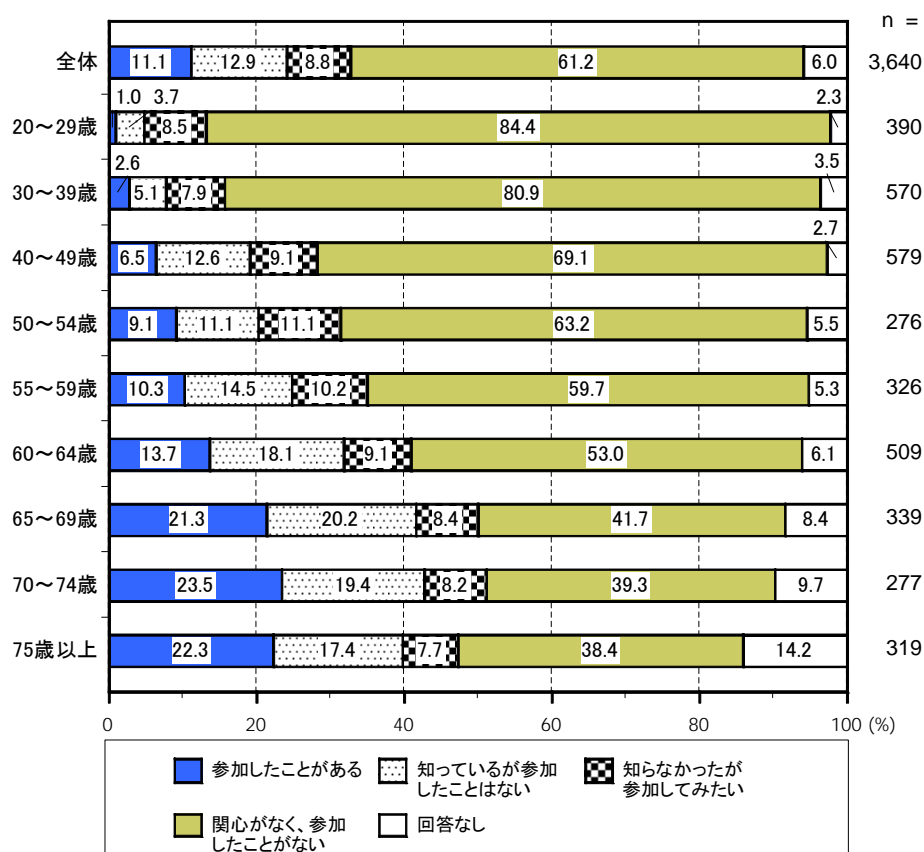
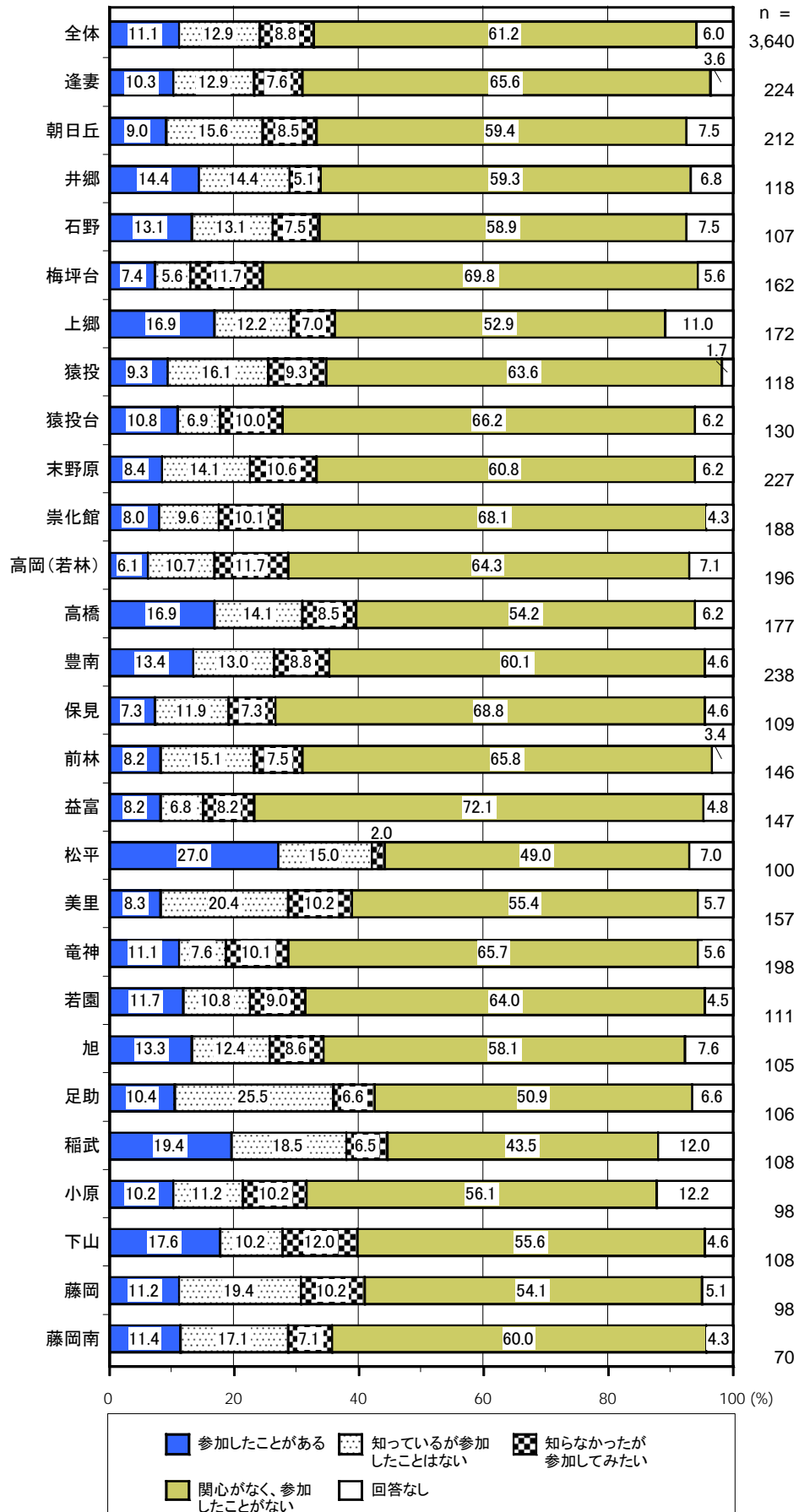


図57 報告会への参加状況（居住地区別）



(18) 市政報告書について

問33 あなたは、市議会議員(会派含む)が発行する市政報告書(「後援会だより」等)を読んだことがありますか。(〇は1つ)

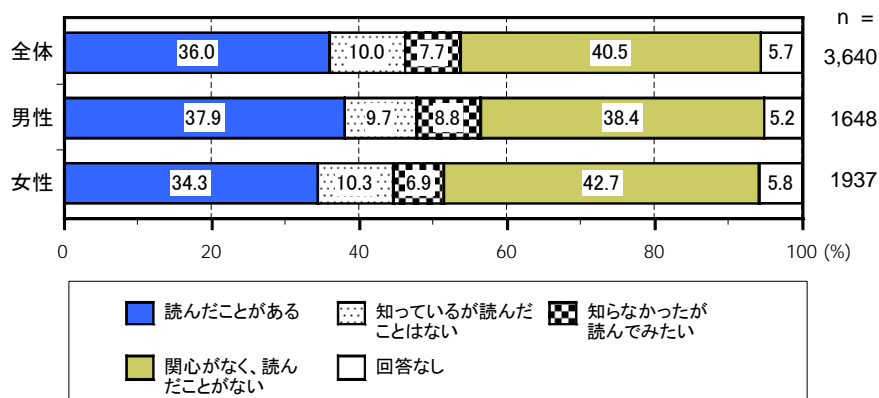
【全体】

- 市議会議員が発行する市政報告書(「後援会だより」等)を「読んだことがある」は36.0%、「知らなかったが読んでみたい」は7.7%で、合わせて45%近くが読む意欲があり、議会や議員活動を報告する重要な手段となっています。
- 「知っているが読んだことはない」は10.0%、「関心がなく、読んだことがない」は40.5%です。

【性別】

- 男性で「読んだことがある」が37.9%と女性よりもやや高い割合で、女性で「関心がなく、読んだことがない」の割合が42.7%と男性よりもやや高くなっています。

図58 市政報告書について (性別)



【年齢別】

○20～29歳では「読んだことがある」が9.0%と低く、50歳にかけて割合が大きくなり、50～64歳では40%以上になっています。また、65～69歳では、「読んだことがある」は57.4%と年齢層の中で最も高くなっています。

○一方、20～29歳でも「知らなかったが読んでみたい」は9.7%で、ほかの年齢層よりも若干高くなっています。読んでみたい市民に市政報告書が届きやすくなる工夫を重ねることが必要とうかがえます。

図59 市政報告書について（年齢別）

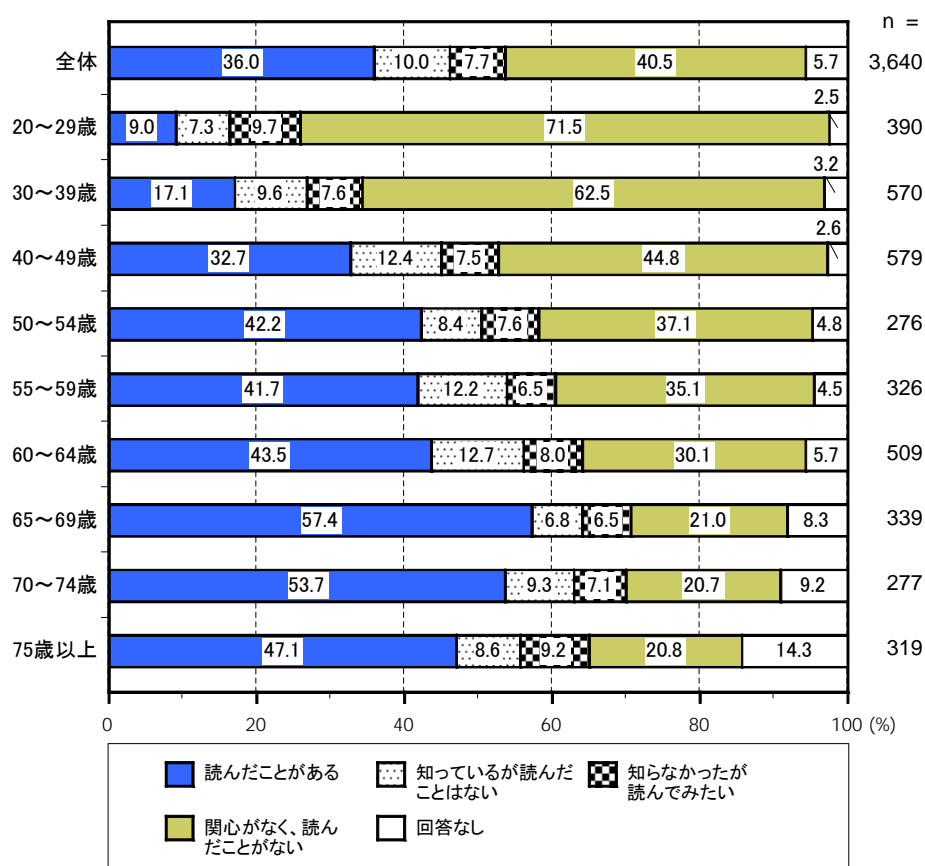
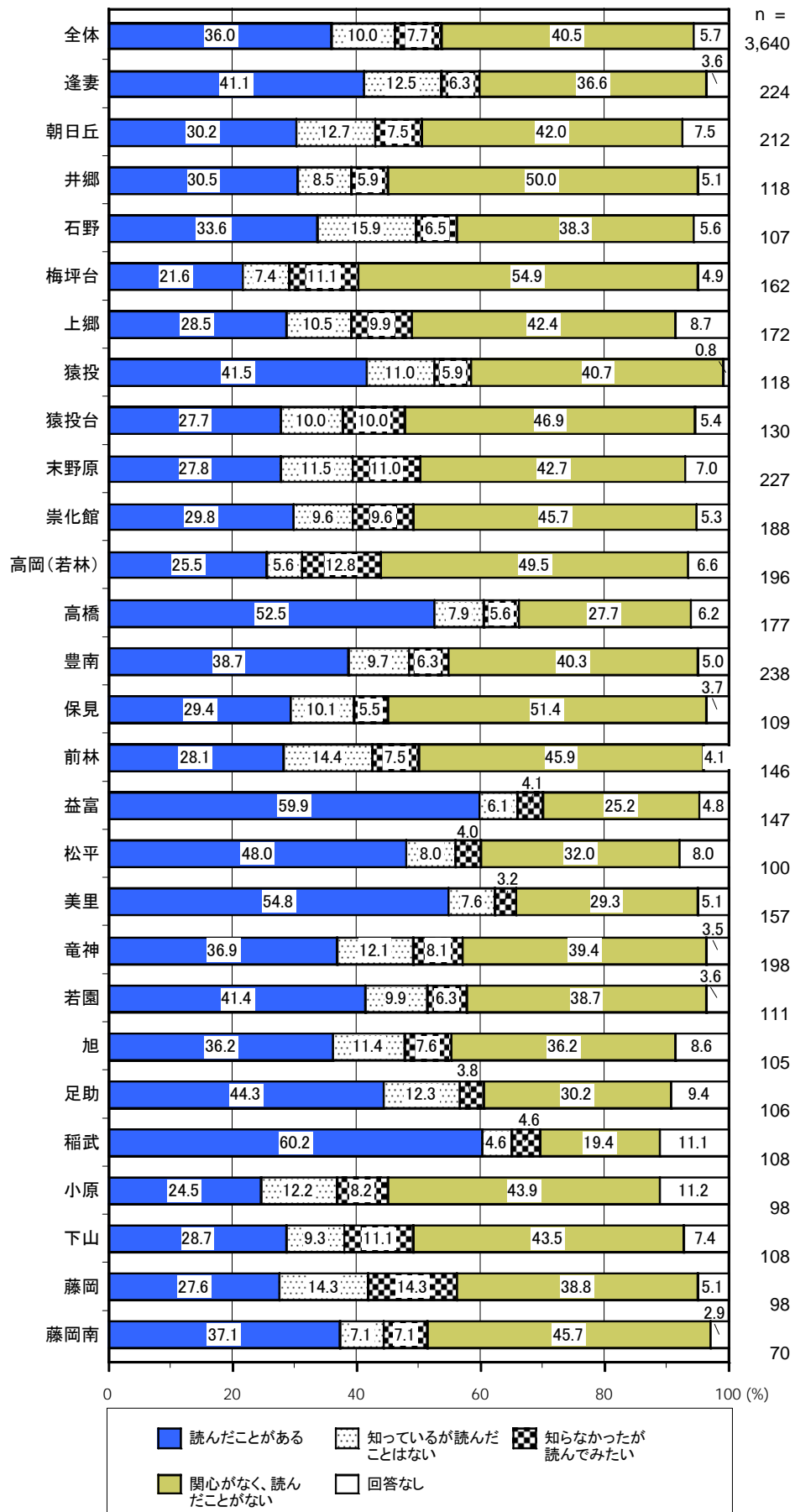


図60 市政報告書について（居住地区別）



(19) 市議会や市議会議員に対して期待すること

問34 あなたは、市議会や市議会議員に対して、何を期待しますか。(該当するものすべてに○)

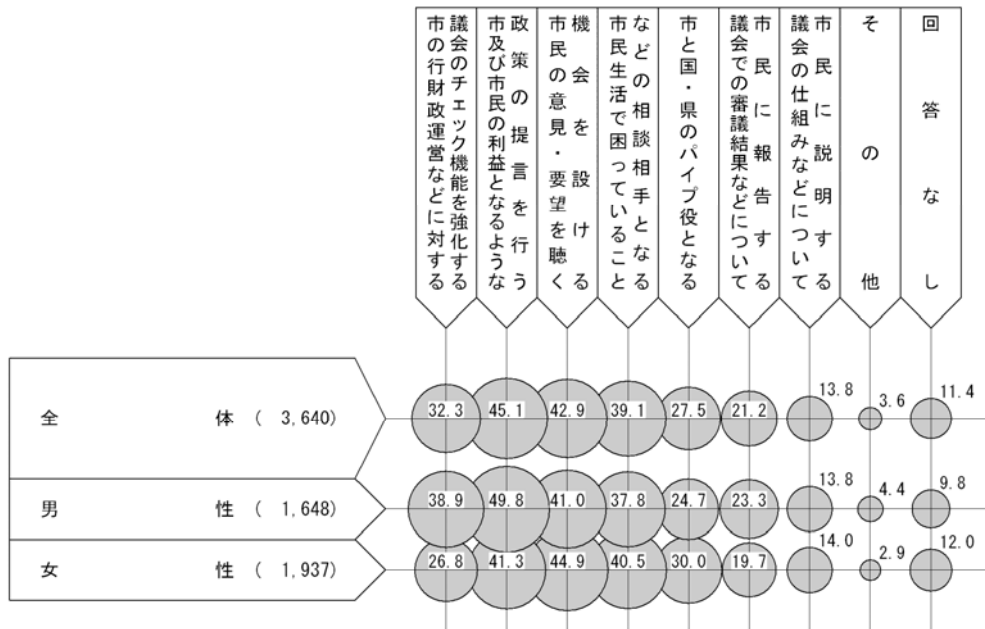
【全体】

- 市議会や市議会議員に対して期待することは「市及び市民の利益となるような政策の提言を行う」(45.1%)と「市民の意見・要望を聴く機会を設ける」(42.9%)、「市民生活で困っていることなどの相談相手となる」(39.1%)が多くなっています。
- 政策提言とともに、市民の声を聴き相談する役割が期待されています。

【性別】

- 男性で「市及び市民の利益となるような政策の提言を行う」(49.8%)、「市の行財政運営などに対する議会のチェック機能を強化する」(38.9%)などで、女性より割合が高くなっています。
- 一方、女性では「市民の意見・要望を聴く機会を設ける」(44.9%)、「市と国・県のパイプ役となる」(30.0%)などで、男性よりも割合が高くなっており、市民の声を聴くことを中心に期待しています。

図61 市議会や市議会議員に対して期待すること(性別)



【年齢別】

- 年齢層によって、市議会や市議会議員に対して期待することがやや分かれているのが特徴です。
- 50～54歳で「市民の意見・要望を聴く機会を設ける」、50～54歳とともに60～64歳で「市民生活で困っていることなどの相談相手となる」、「市の行財政運営などに対する議会のチェック機能を強化する」が、年齢層の中でも高い割合になっています。
- 20～29歳と40～49歳、55～59歳では、「市及び市民の利益となるような政策の提言を行う」の割合がほかの年齢層よりもやや高くなっています。
- さらに、20～29歳では「議会の仕組みなどについて市民に説明する」、20～29歳と40～49歳で「市と国・県のパイプ役となる」の割合が目立っています。
- 65歳以上では、「議会での審議結果などについて市民に報告する」の割合が、ほかの年齢層よりも高くなっています。

図62 市議会や市議会議員に対して期待すること（年齢別）

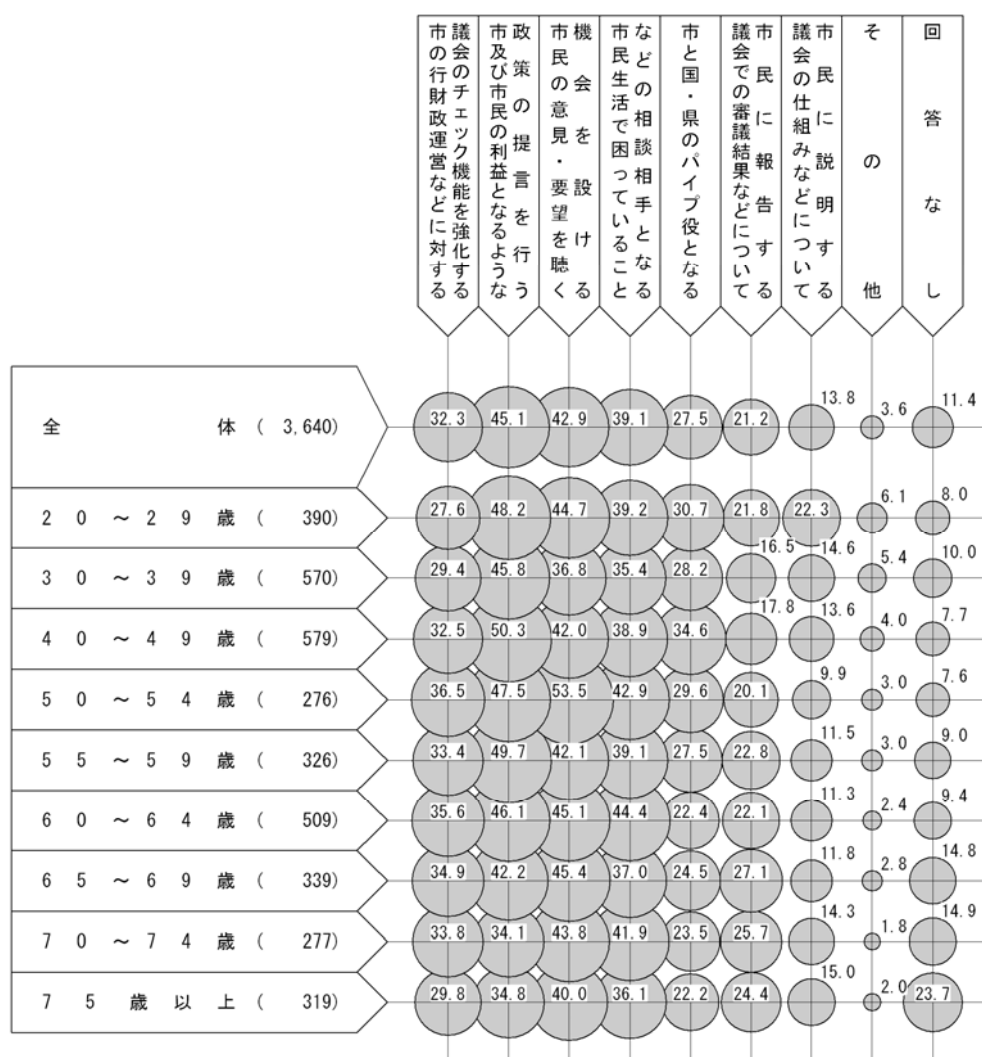
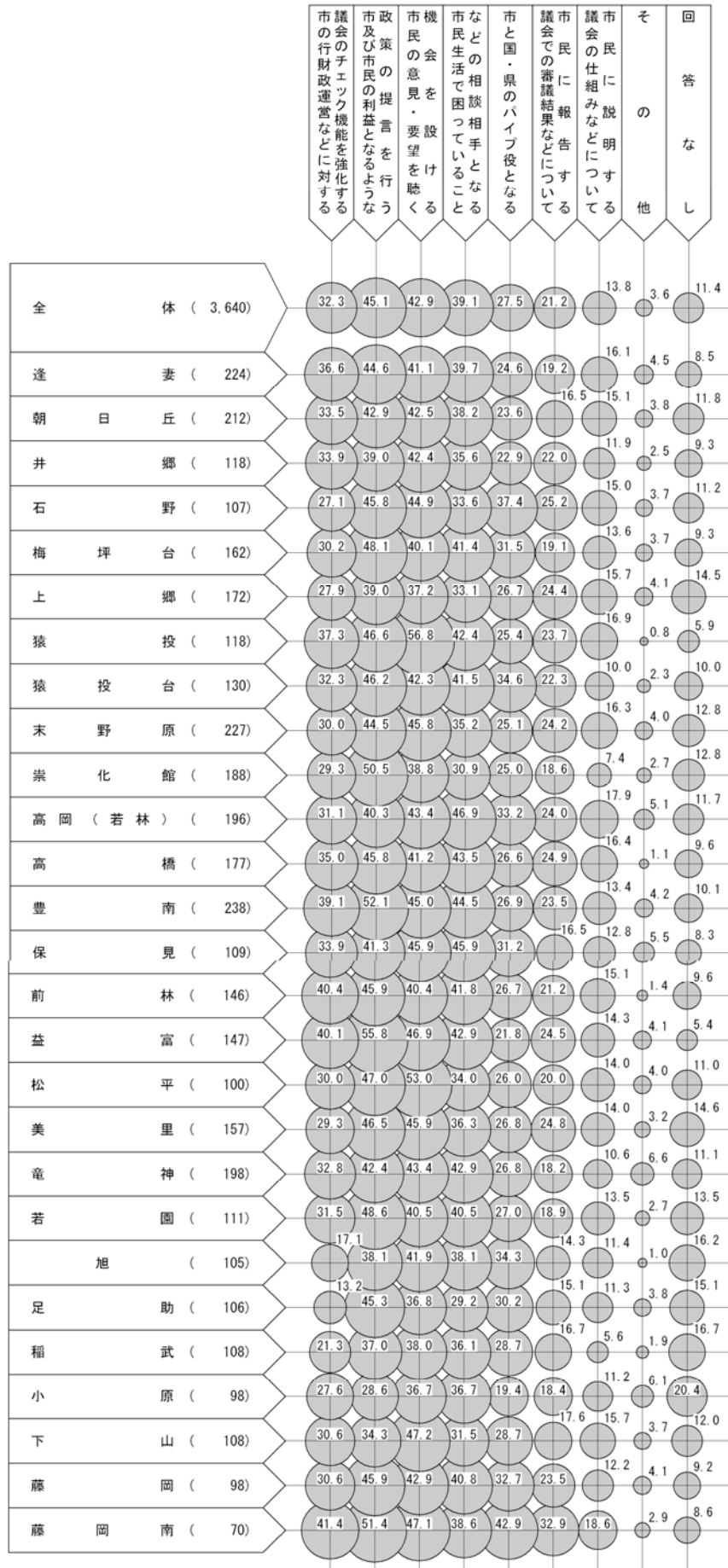


図63 市議会や市議会議員に対して期待すること（居住地区別）



4. 自由意見のまとめ

- 自由意見は、236人から延べ252件の回答をもらいました。
- 意見の種類の中では、議員定数、議員の選挙の時の姿勢と日常活動、活動がわからない・報告してほしい、その他議員活動・姿勢などについての内容が目立っています。
- 全体的に批判的な意見が多くなっていますが、地域の声を聴いてほしい、市全体のことを考えてほしい、要望を聴いてほしい、市政をチェックしてほしいなどの役割が求められています。

表2 議会アンケートにおける自由意見

◆議会について	9件
(主な意見) ○市民の多くの人をもっと関心の持てるようなオープンな議会にすべきである。 ○市民の気持ちになって、真剣に会議をしてほしい。	
◆議員定数について（見直し・経費削減）	39件
(主な意見) ○議員が多すぎる。報酬が多すぎる。 ○報酬に見合った活動をしっかり実行してほしい。 ○合併後の議員定数の見直し ○議員定数の削減によって地域に著しい格差が生じないような制度を構築してほしい。	
◆議員給与について（削減・見直し）	14件
(主な意見) ○民間企業が不景気なのに、市役所議員の給料が良すぎて不満である。 ○豊田市議会議員の収入が高過ぎる。	
◆議員の選挙の時の姿勢と日常活動の差	29件
(主な意見) ○選挙前だけでなく、いつでも相談や話しができるとうよい。 ○選挙時の行動だけでなく、普段から地域密着が必要である。 ○議員は市民の声として足として、働くことが大事で、選挙が終わってしまえば、市民のことを重く受け取れない人が多いと思う。 ○選挙の時だけ何でも相談に乗りますと言うが、終わってしまえばなしのつぶてとなる。	
◆地域の声を聴いてほしい	11件
(主な意見) ○議員は地元の要望にもっと耳を傾けてほしい。 ○地域をよく見て、何が必要か考えて実行するようにしてほしい。	
◆要望を聴いてほしい	12件
(主な意見) ○市民生活で困っていることなどの要望を聴くことで、問題解決の第一歩になる相談の機会を設ける。 ○市民が意見・要望を伝えやすいように方法などを掲示してほしい。	

◆地域の議員がほしい	5件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊田市全域での選挙では、旧郡部の議員はいなくなる。地区代表枠を作るべきである。 ○地域の代表なので、もっと地域に足を運んでほしい。また、公平な態度で臨んでもらいたい。 	
◆市全体のことを考えてほしい	11件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊田市の将来像を大いに語ってほしい。 ○選挙区だけでなく市内全体に動ける議員でいてほしい。 ○自分の地区の住民のためだけでなく、市民全員のための施策を考えて行動してほしい。 ○豊田市の中心地域ばかりではなく、全員が市全域を何度も視察し、地区ごとに必要なことを議論してほしい。 	
◆活動がわからない・報告してほしい	28件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的に地域住民に市議会で行っている課題などを報告会で行ってほしい。地域の代表として率先して市民の意見や要望を聴いて、リーダーシップを図ってほしい。 ○市議会、定例会議がいつ開かれるか、1ヶ月前に回覧で知らせるような方法を取ってほしい。 ○市議会議員の全員が何をしたか、議員だよりの発行を希望する。 ○各地区で市政報告会をする。 ○市議会や市議会議員がどのような取り組みをしているか良く分からない。もっと市民に注目して興味を持つ活動をしてほしい。 ○私達のどんな小さな疑問や生活するうえで困ったことにも一つずつ丁寧に回答してくれた。体には気をつけて万全に市政に臨んでほしい。 	
◆市政をチェックしてほしい	7件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無駄な施設はないか、建設については十分検討してほしい。 ○行財政運営の監査機関を果たす。特に無駄の排除、表面的でなく徹底した事業仕分けの実施 	
◆海外出張・視察について(見直しなど)	6件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅行のような海外研修等、税金の無駄遣いを見直すべきではないか。 ○他市の視察など大いにやるべきで、しっかりと報告してほしい。豊田だけでは分からないことが多いと思う。 	

◆税金の無駄遣いをなくしてほしい	14 件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民から集めた税金の遣い道を全部明確にしてほしい。 ○減税や歳費の削減に積極的に取り組む。 ○なるべく税金の無駄遣いをなくしてもらい、市や市民のためになるものには慎重に検討の上、実現に向けてお金を投資してもらいたい。 	
◆その他議員活動・姿勢など	48 件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の目線で常に発言・決定等をするようにしてほしい。 ○まず市民のことを第一に考えて行動してほしい。 ○多数の人が立候補して良い人を選びたい。一部の地域の人の推薦で立候補されるので良い人が出られない。 ○近所の市会議員は誠実に動いて、町は良くなっていると思う。もっと若い人が議員になってほしい。 ○会派、同志でお互いに市民のために一緒になって力を合わせてほしい。 ○他市をにらみ、当市のポジションを常に確認しながら活動してもらいたい。 ○誰のために働いているのか自覚してほしい。豊田市が他地域の人々から羨ましがられる市になるよう独自の法案を出してほしい。 ○議会と議員はそもそも誰のためにいるのか、根本的なことが実践されているとは思えない。もっとアクティブに活動してほしい。 ○地域当選の新人議員の誠実さに敬意を持っている。健康を心配するほどの行動に共感している。 	
◆個別の施策への要望	19 件
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市の負債を早急になくすようお願いしたい。 ○農政についての要望。高齢者、定年退職者を対象にした農業団体をつくったが、新規参入は財政的に大変苦しく、市の支援について議会にて協議してもらいたい。 ○30～50年先の将来に対する展望とその対策。社会の安定、発展は人にある。教育、人づくりに投資 ○周辺の通学路の安全・パトロール等PTAを通じて要望は出しているものの、目に見えるように取り組んでほしい。 ○不景気の対策として、市内の企業を優先的に市の入札等参加させる。豊田市が発注する仕事等、できるだけ地元の企業を利用してほしい。 ○これからの社会を担っていく若い人たちの、働く場がないとよく聞く。製造部門や介護関係の仕事の賃金を良くすれば働く意欲を持てると思う。こういう課題に市議会で取り組めないか。 	

5. アンケート結果からみた課題と方向について

①議会や議員活動の基本や市民が関心のある活動について周知することが必要

アンケート結果から、市議会議員選挙には「毎回必ず行く」が67.1%で、「ほとんど行く」を合わせると、80%以上が投票に行っています。

一方、市議会に関心が「ある」は10%にとどまり、「どちらかといえばある」を合わせても30%強です。また、市議会定例会の開催についても「知っている」は4分の1程度にとどまっています。

このように、選挙には行くが、市議会への関心などは低いのが実態です。市議会の開催状況など基本的なことから市民に丁寧に周知を図るとともに、関心を持つ市民のすそ野を広げる必要があります。

また、自由意見においては、議員定数の是正などを求める意見もありますが、議会・議員の役割として地域の声や要望を聴くこと、市全体の視野でも提言、市政のチェックなどの役割が期待されています。これらの市民の関心が高いことに対して議会・議員の行っている活動などについても、一層周知を図ることが課題です。

②女性や若年層の関心を高めることが必要

選挙に行くこと、市議会への関心度、市議会定例会の認知度、市議会の見聞状況など、多くの設問において、女性の関心が男性に比べてやや低いことと、年齢層では特に20歳代の若年層ほど関心が低い結果が目立っています。

このため、女性や若者をターゲットとして、市議会に関心を持ってもらうための情報発信の工夫を検討することが必要です。また、家庭や職場、地域において誰もが市議会に関心を持つことの重要性を理解し合い、みんなが関心を持つように呼びかけることなどが必要と考えられます。

③豊田市議会基本条例の分かりやすいPR

豊田市議会基本条例が制定されたことを「知っている」は、わずかに6.4%というように、知られていないのが実態です。

同条例は、議会と市民との関係や、議会・議員の責務などの議会の基本的なことを定めたものであり、議員それぞれが自らの姿勢とともに、分かりやすくPRに努めることが必要と考えられます。

④議会についての周知方法、情報発信の工夫

市議会だよりを「全部読んでいる」は5.1%ですが、「関心のある記事だけは読んでいる」を合わせると半数近くが読んでおり、貴重な情報発信ツールとなっています。このほかの情報源としては、議員・会派等からの情報をはじめ、新聞、ケーブルテレビなど、多様なツールが活用されています。

また、市議会議員が発行する市政報告書（「後援会だより」等）は、「読んだことがある」が36.0%で、「知らなかったが読んでみたい」を合わせると45%近くが関心を持っています。

よく活用されている情報源のさらなる情報発信の工夫を継続することと、比較的使われていないホームページの利用を若年層に対してもPRすること、シンポジウムなどにおいて市民に関心がある話題や、楽しい雰囲気の情報発信を強化することなどが求められます。

⑤市民が要望しやすいように直接接する機会が改めて重要

市議会議員に意見や要望を伝えた方法としては、「議員に会って伝えた」が約80%であり、議員と市民が直接接することが改めて重要であると分かります。伝えていない回答者では、「伝える手段が分からない」が39.1%、「知っている議員がいない」が17.5%となっています。

たとえば、市議会議員の報告会に「参加したことがある」は11.1%、「知らなかったが参加してみたい」が8.8%であり、議員と市民が接する機会として、報告会に参加する人を掘り起こすことや、気軽に顔を出してもらうことが必要と考えられます。

一方、市民は投票にはよく行くものの、市議会議員の名前を1人も知らない回答者が全体で15.0%、さらに若年層では投票に行っても名前を覚えていない場合もあると思われるため、市民も政治に対する関心を自ら高める努力が必要です。この意識とともに、地域社会を良くする役割を担うような真の市民を目指していく意識が必要であると思われます。

⑥年齢層によって特色があるニーズにどう対応していくのか

市議会や市議会議員に対しては「市及び市民の利益となるような政策の提言を行う」(45.1%)と「市民の意見・要望を聴く機会を設ける」(42.9%)、「市民生活で困っていることなどの相談相手となる」(39.1%)というように、政策提言を行うことと、市民の声を聴き相談相手になるという大きく二つの役割が期待されています。

一方、市民は、年齢層によって期待することに特色があります。たとえば、高齢層の中では行財政などへのチェックや、審議結果について市民に報告することを求めており、若年層では議会の仕組みを市民に説明することを期待しています。

全ての年齢層の期待に対して議員個人や会派が応えることは非常に難しいと思われませんが、議会が一体となり、市民が多様な期待を寄せていることを認識していくことが必要です。

参考資料（調査票）

※「第19回市民意識調査」において実施した議会に関する設問等

第19回 市民意識調査

あなたのご意見をお聞かせください

日ごろは、市政及び議会活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

市民意識調査は、市民の皆さまから市のこれまでの取組に対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対するお考えをお聞きし、今後の市政運営の基礎資料とするものです。調査結果は、今後の市の取組の達成度をはかる指標とし、市民の皆さまに満足していただける市政の実現に向けて活用していきます。

また、今回は議会に関する調査も実施いたします。こちらは市民の皆さまにわかりやすく開かれた議会に向けて活用していきます。

つきましては、市内にお住まいの方の中から6,500人を無作為に選ばせていただき、調査票を送らせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力をお願い申し上げます。

平成23年11月 豊田市長 鈴木 公平
豊田市議会議長 河合 芳弘

【調査の取扱い】

1. 調査票は無記名でお答えいただき、調査結果は統計的に処理しますので、個人にご迷惑をかけることはありません。
2. 調査結果は、調査目的以外に使用することはありません。

【記入上の注意】

1. **ご回答は、できる限り宛名のご本人にお願いします。** 事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
2. 各項目について、あなた自身が思ったこと、行っていることをお答えください。
3. ご回答は、番号に○をつけてください。「その他」の番号に○をつけたときは、お手数ですが、質問欄のカッコの中に内容を簡単にお書きください。

【調査票の返信】

ご記入後は、同封の返信用の封筒に入れて、**11月28日(月)までに**、切手をはらずに、ポストに入れてください。

【お問合せ先】

●市政に関する設問(1~7ページ、10ページ)

豊田市役所 総合企画部 企画課
住所 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
電話 34-6602(直通)
FAX 34-2192
Eメール kikaku@city.toyota.aichi.jp

●議会に関する設問(8、9ページ)

豊田市議会事務局
住所 左に同じ
電話 34-6665(直通)
FAX 34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

豊田市議会についておたずねします。

問 21. あなたは、市議会に関心がありますか。
(○は1つ)

- 1. ある
- 2. どちらかといえばある
- 3. どちらかといえはない
- 4. ない

問 22. あなたは、市議会定例会が年4回(3月、6月、9月、12月)開催されていることを知っていますか。(○は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問 23-1. あなたは、市議会の会議を見たり聞いたりしたことがありますか。(該当するものすべてに○)
なお、「2～6」とご回答の方は、追加質問にもお答えください。

- 1. 議場等で傍聴したことがある
- 2. インターネットの録画放送で見たとある
⇒追加質問【①自発的に見た ②偶然に見た】
- 3. ひまわりネットワーク(ケーブルテレビ)の放送を見たとある
⇒追加質問【①自発的に見た ②偶然に見た】
- 4. ラジオラプイート(FMラジオ)で聞いたことがある
⇒追加質問【①自発的に聞いた ②偶然に聞いた】
- 5. 市役所内のテレビで中継を見たとある
⇒追加質問【①自発的に見た ②偶然に見た】
- 6. 見たことや聞いたことがない

問 23-2. 前問で「6」とお答えの方にお聞きします。その理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 見たり聞いたりする時間がない
- 2. 見たり聞いたりする方法がわからない
- 3. 市議会の開催日・時間を知らない
- 4. 関心がない
- 5. その他()

問 24. あなたは、市議会ホームページを見たことがありますか。(○は1つ)

- 1. よく見る
- 2. 時々見る
- 3. 見たことはある
- 4. 見たことがない

問 25. あなたは、「市議会だより(年5回 発行)」を読んでいますか。(○は1つ) なお、「3」とご回答の方は、追加質問にもお答えください。

- 1. 全部を読んでいる
 - 2. 関心のある記事だけは読んでいる
 - 3. 「市議会だより」は知っているが、読んではいない
- ⇒追加質問:どのような内容であれば読みますか。

- 4. 「市議会だより」を知らない

問 26-1. あなたは、「市議会だより」以外で議会に関する情報を得ていますか。(○は1つ)

- 1. 情報を得ている
- 2. 情報は得ていない

問 26-2. 前問で「1」とお答えの方にお聞きします。該当する情報源をお選びください。
(該当するものすべてに○)

- 1. 市議会ホームページ
- 2. 議員・会派^{※注}等のお便り(後援会だよりなど)
- 3. 議員・会派等のホームページ
- 4. ひまわりネットワーク(ケーブルテレビ)
- 5. ラジオ・ラプイート(FMラジオ)
- 6. 新聞
- 7. その他()

※注「会派」……主義・主張を同じくする議員によって作られたグループ・団体

問 27. あなたは、「豊田市議会基本条例(平成21年5月可決)」が制定されたことを知っていますか。(○は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問 28. あなたは、市議会が主催する議会報告会に参加したことがありますか。(○は1つ)

- 1. 参加したことがある
- 2. 知っているが参加したことはない
- 3. 知らなかったが参加してみたい
- 4. 関心がなく、参加したことがない

豊田市議会議員についておたずねします。

問 29. あなたは、市議会議員の選挙に行きますか。
(○は1つ)

- 1. 毎回必ず行く
- 2. ほとんど行く
- 3. 時々行く
- 4. 行かない

問 30. あなたは、現在の市議会議員の名前を何人ぐらいご存知ですか。(○は1つ)

- 1. 0人
- 2. 1人
- 3. 2人～5人
- 4. 6人～10人
- 5. 11人以上

問 31-1. あなたは、市議会議員に自分の意見や要望を伝えたことがありますか。(○は1つ)

- 1. 意見や要望を伝えたことがある
- 2. 意見や要望を伝えたことはない

問 31-2. 前問で「1」とお答えの方にお聞きします。どのような方法で伝えましたか。(該当するものすべてに○)

- 1. 議員に会って伝えた
- 2. 議員に電話で伝えた
- 3. 議員にFAXで伝えた
- 4. 議員にメールで伝えた
- 5. その他()

問 31-3. 問 31-1 で「2」とお答えの方にお聞きします。意見や要望を伝えない理由はなんですか。
(該当するものすべてに○)

- 1. 伝えたい意見や要望が特でない
- 2. 議員に遠慮をして伝えていない
- 3. 議員に意見・要望しても実現しない
- 4. 知っている議員がいない
- 5. 伝える手段がわからない
- 6. 意見や要望は市役所に伝える
- 7. その他()

問 32. あなたは、市議会議員(会派含む)の行う報告会に参加したことがありますか。(○は1つ)

- 1. 参加したことがある
- 2. 知っているが参加したことはない
- 3. 知らなかったが参加してみたい
- 4. 関心がなく、参加したことがない

問 33. あなたは、市議会議員(会派含む)が発行する市政報告書(「後援会だより」等)を読んだことがありますか。
(○は1つ)

- 1. 読んだことがある
- 2. 知っているが読んだことはない
- 3. 知らなかったが読んでみたい
- 4. 関心がなく、読んだことがない

問 34. あなたは、市議会や市議会議員に対して、何を期待しますか。(該当するものすべてに○)

- 1. 市の行財政運営などに対する議会のチェック機能を強化する
- 2. 市及び市民の利益となるような政策の提言を行う
- 3. 市民の意見・要望を聴く機会を設ける
- 4. 市民生活で困っていることなどの相談相手となる
- 5. 市と国・県のパイプ役となる
- 6. 議会での審議結果などについて市民に報告する
- 7. 議会の仕組みなどについて市民に説明する
- 8. その他()

市議会や市議会議員に対するご意見やご要望、今後、議会で取り組んでほしい課題等何かお気づきの点がありましたら自由にご記入ください。

(※個人批判等をご遠慮ください)

あなた自身についておたずねします。

問 35. あなたの性別は

1. 男 2. 女

問 36. あなたの年齢は

1. 20～29 歳 6. 60～64 歳
2. 30～39 歳 7. 65～69 歳
3. 40～49 歳 8. 70～74 歳
4. 50～54 歳 9. 75～79 歳
5. 55～59 歳 10. 80 歳以上

問 37. あなたのお住まいは、どの地区(中学校区)にありますか。次の中から選んでください。地区がわからない場合は、町丁名を記入してください。

- | | | |
|---------|------------|----------------|
| 1. 逢 妻 | 11. 高岡(若林) | 21. 旭 |
| 2. 朝日丘 | 12. 高 橋 | 22. 足 助 |
| 3. 井 郷 | 13. 豊 南 | 23. 稲 武 |
| 4. 石 野 | 14. 保 見 | 24. 小 原 |
| 5. 梅坪台 | 15. 前 林 | 25. 下 山 |
| 6. 上 郷 | 16. 益 富 | 26. 藤 岡 |
| 7. 猿 投 | 17. 松 平 | 27. 藤岡南 |
| 8. 猿投台 | 18. 美 里 | (田茂平, 西中山, 深見) |
| 9. 末野原 | 19. 竜 神 | |
| 10. 崇化館 | 20. 若 園 | |

*地区がわからない場合→ _____ 町 _____ (丁目)

問 38. あなたの職業は

1. 農林漁業
2. 会社員、公務員、教員などの勤め人
3. 自営業
4. パートタイマー・アルバイト
5. 専業主婦(夫)
6. 学生
7. 無職
8. その他()

問 39-1. あなたの出生地(お生まれ)は

1. 豊田市(合併後の豊田市を指します)
2. 県内(豊田市を除く)
3. 県外

問 39-2. 前問で「2」「3」とお答えの方にお聞きします。あなたは、豊田市にお住まいになって何年になりますか。

1. 1年未満 4. 5年以上 10 年未満
2. 1年以上 3年未満 5. 10 年以上 20 年未満
3. 3年以上 5年未満 6. 20 年以上

問 40-1. あなたの同居している家族構成は

1. 単身 4. 親・子・孫(3世代)
2. 夫婦のみ 5. その他()
3. 親子(2世代)

問 40-2. あなたの同居の家族に次の方はいますか。

	1いる	2いない
①就学前(0～5歳)	1	2
②小学生	1	2
③中学生	1	2
④65 歳以上	1	2

ご協力いただきありがとうございました。回答は返信用の封筒に入れて、
11月28日(月)までに 切手をはらずに、ポストに入れてください。